

令和5年度 病床機能報告

報告様式2

「II その他の具体的な項目」の

「② 具体的な医療の内容に関する項目」

確認・記入要領

(病院・有床診療所共通)

(第1.1版)

目次

《重要なお知らせ》	1
I. 報告の概要	2
(1) 報告の目的	2
(2) 報告様式2作成・提出の進め方	2
(3) 報告様式2について	24
(4) 報告期限	28
(5) 問い合わせ窓口	29
II. 報告様式2の確認・記入の手引き	31
(1) 「基本票」の確認・記入要領	35
(2) 「病棟票」の確認・記入要領	36
1. 算定する入院基本料・特定入院料等の状況	37
2. 有床診療所の多様な機能の状況	38
3. 幅広い手術の実施状況	38
4. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況	40
5. 重症患者への対応状況	43
6. 救急医療の実施状況	44
7. 急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況	45
8. 全身管理の状況	47
9. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況	48
10. 長期療養患者の受入状況	49
11. 重度の障害児等の受入状況	50
12. 医科歯科の連携状況	50
13. 当該病棟における医療機能の報告の再確認	50
(3) 「手術（個別）票」及び「全身麻酔手術（個別）票」の確認・記入要領	53
III. 報告エラーについて	55
IV. よくあるご質問	56

《重要なお知らせ》

報告内容に係る見直し事項

- ・ 病棟票「1. 算定する入院基本料・特定入院料等の状況」の「急性期一般入院料7」と「短期滞在手術等基本料2」が削除となりました。
- ・ 病棟票「1. 算定する入院基本料・特定入院料等の状況」に「療養病棟特別入院基本料」「特定機能病院リハビリテーション病棟入院料」が追加となりました。
- ・ 病棟票「3. 幅広い手術の実施状況」に「内視鏡手術用支援機器手術」が追加となりました。
- ・ 病棟票「5. 重症患者への対応状況」に「地域連携分娩管理加算」が追加となりました。
- ・ 病棟票「6. 救急医療の実施状況」に「急性期充実体制加算」と「早期栄養介入管理加算」が追加となりました。
- ・ 病棟票「7. 急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況」の「救急・在宅等支援（療養）病床書記加算及び有床診療所一般病床初期加算」が「救急・在宅等支援病床初期加算、在宅患者支援療養病床初期加算、有床診療所急性期患者支援（療養）病床初期加算、有床診療所在宅患者支援（療養）病床初期加算」に報告項目名が変更となりました。
- ・ 病棟票「7. 急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況」の「二次性骨折予防継続管理料」が追加となりました。

I. 報告の概要

(1) 報告の目的

本報告は、平成26年度より開始された病床機能報告制度に基づき、一般病床・療養病床を有する医療機関から、「病棟単位」を基本として当該病床において担っている医療機能の現状と今後の方向、具体的な報告事項をあわせてご報告いただきます。本報告は都道府県の地域医療構想の策定等に資する資料を得ることを目的としています。

なお、地域医療構想における病床の必要量は、医療機関内での病棟の構成や病棟単位での患者の割合等を正確に反映したものではないため、必ずしも病床機能報告の病床数と数値が一致するわけではありません。

また、本報告でいずれの医療機能を選択した場合でも、診療報酬の入院料等の選択に影響を与えるものではありません。

本報告では、病床機能報告制度における報告項目のうち、「Ⅱその他の具体的な項目」の「②具体的な医療の内容に関する項目」について、ご確認・ご報告ください。

(2) 報告様式2作成・提出の進め方

報告様式2は、①基本票、②病棟票から構成されています。

「Ⅱ. 報告様式2の確認・記入の手引き」をご参照のうえ、各項目についてご確認、ご報告いただき、『令和5年度病床機能報告 報告マニュアル〈②手順編〉』のスケジュールに従って、以下の手順で報告様式2の作成と提出をお願いします。

① G-MIS上のWEBフォームで作成・提出する場合

G-MIS上のWEBフォームでご報告いただきます。報告内容を機械的に判定し、必要に応じてエラーが表示されます。エラーが表示された場合は、「Ⅲ. 報告エラーについて」を参考に、報告内容を修正してください。

入力後は保存のうえ、[報告] ボタンをクリックしてご提出ください。なお、報告漏れや明らかな誤りがある場合、提出できないことがあります。その場合には入力内容を再度ご確認ください。

※深夜の2:00～5:00はシステムのメンテナンスが行われるため、病床・外来機能報告のG-MIS上での入力はお控えください。システムメンテナンス中に入力すると入力内容が正常に反映されない可能性があります。

② 紙媒体に記入して作成・提出する場合

紙媒体での報告を希望される場合は、『令和5年度病床機能報告 報告マニュアル〈②手順編〉』の手順に従って紙媒体の報告様式を入手してください。紙媒体の報告様式の発送は受付から5～10営業日程度を要する場合があります。また、報告様式2の発送は11月中旬以降となります。記入した紙媒体の報告様式は、入手時に同

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

封されている返信用封筒でご提出ください。なお、業務効率化等の観点から、可能な限り G-MIS 上の WEB フォームで報告を行ってください。

※貴院において医科レセプト、歯科レセプトの両方の診療報酬請求を行っている場合、**報告様式2は医科と歯科を合わせてご報告ください。**

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

G-MIS 上の WEB フォームでの入力から提出までの流れ

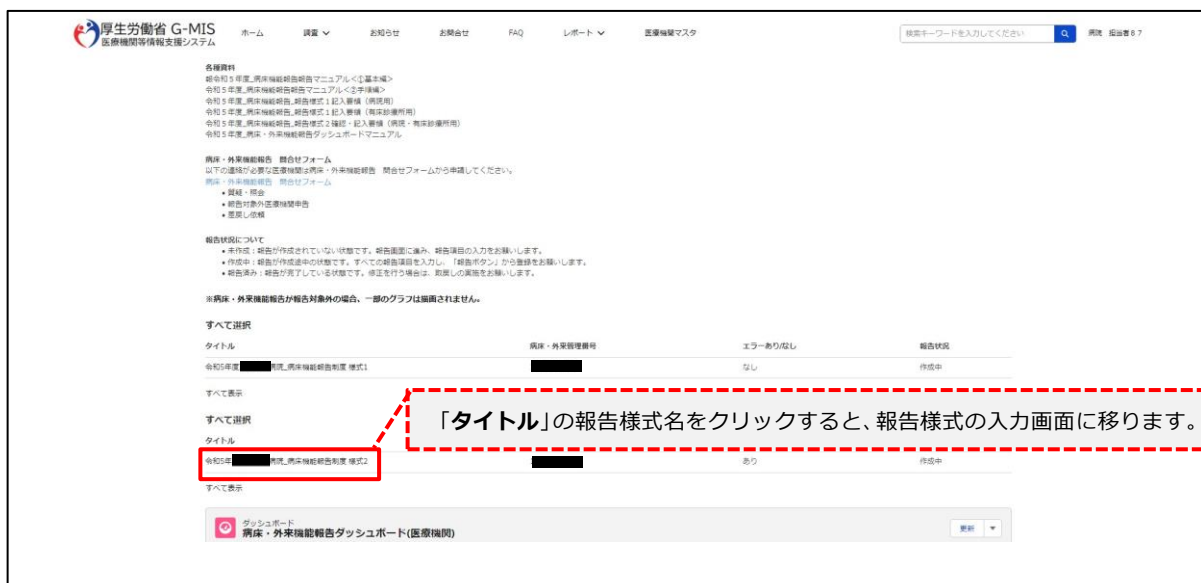
- ① 『令和5年度病床機能報告 報告マニュアル〈②手順編〉』の「4-1. 報告様式等の入手」に記載の方法で、G-MISにログインし、図1の画面に移りましたら、[病床機能報告]をクリックします。

図1 ログイン後のホーム画面



- ② 図2の画面に移った後、タイトルの報告様式名をクリックすると、報告様式2の入力画面に移ります。

図2 病床機能報告リストビュー画面



報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ③ 画面（図3）の【編集】ボタンをクリックしてから、画面に沿って入力を進めてください。項目に必須項目、任意項目、報告不要な項目があります。必須項目には項目横に「*」が表示され、報告不要な項目は回答欄がグレーアウトされます。

図3 閲覧画面（基本票）

【編集】ボタンをクリックしてから入力を進めてください。

ページ左にあるナビゲーションメニューでは、各項目に移動できる他、エラーがある項目とエラーの数を確認することができます。

医療機関名等一部の項目は予め入力されています。令和5年7月1日時点の情報と異なる場合は、制度運営事務局にご連絡ください。（画面上では修正できない項目があります）

医療機関コードを入力すると、自動的に画面下に病棟コード・病棟名一覧が表示されます。
*ここで表示される病棟コードと病棟名はレセプト請求時の報告内容となります。
*歯科も該当する場合は必ず入力してください。

医療機関コードが正しく入力されると、保存後に病棟コード・病棟名の一覧が自動的に表示されます。（次ページ参照）
*入力を5回間違えると画面がロックされます。ロックされた場合は制度運営事務局までお問い合わせください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ④ 都道府県番号・医療機関コードを入力し、[保存] ボタンをクリックすると「02. 病棟コード・病棟名入力」欄に病棟一覧が自動的に表示されます。
 なお、貴院において医科と歯科の両方の診療報酬請求を行っている場合は、**医科と歯科の両方の都道府県番号と医療機関コード**を入力してください。
 片方のコードのみの入力や誤った入力を**5回以上行った場合はロック**がかかり、当該データが表示できなくなります。その場合は制度運営事務局までお問い合わせください。

図4 編集画面（基本票）

② 都道府県番号と医療機関コードを入力後、[保存] ボタンをクリックしてください。正しく入力されている場合プレプリントデータが表示されます。

① 都道府県番号と医療機関コードを入力してください。

都道府県番号・医療機関コード
 (令和5年4月の診療報酬請求時に 医科レセプト、歯科レセプトに 記載した医療機関コード)

	都道府県番号(2桁)	点数表コード	医療機関コード(7桁)
医科用	-	1	
歯科用	-	3	

2. 病棟コード・病棟名入力

病棟コード
 【貴院において、「令和4年4月～令和5年3月診療分」の一般病床・療養病床を有する全ての入院病棟の病棟コードを入力してください。
 (病棟コードの記入は、病院のみ対象。有床診療所は除く。)]

○本様式へのご回答は可能な範囲で構いません。
 ○報告対象は、入院患者に対して行った具体的な医療の内容のうち、「令和4年4月～令和5年3月診療分」で報告項目に該当する診療行為となります。
 ○一般病床・療養病床における「令和4年4月～令和5年3月診療分」の各診療行為の実施状況について、当該診療報酬の施設基準、算定要件を満たす「レセプト件数」、「算定日数」、「算定回数」をご記入いただきます。
 ※ご記入に当たっては、確認・記入要領に記載している各種留意事項をあらかじめご確認ください。
 ○医療報酬の対象でない自費診療等、確認・記入要領に掲げる医療の診療行為のうち、本制度の報告項目に該当するものがあれば、それらを社会保険診療分を追加で計上していただくことも可能です。
 通知の計上につきましても、医療機関の経済的・人的負担を考慮し、任意となりますので、可能な範囲でご対応ください。
 ※追加で計上できる医療の例については、確認・記入要領をご確認ください。
 ○電子の入院レセプトへの「病棟コード」(一般病床または療養病床分)の入力の有無に係る報告方法(病院のみ対象、有床診療所は除く)※
 ・病棟コードを全てまたは一部に入力している病院：病棟ごとに集計した確認用データを提供いたします。
 ・内容をご確認いただき、ご報告ください。病棟コード未入力の場合は、貴院において病棟ごとに分割集計した上で予備のシートに記入してご報告ください。なお、シートが不足する場合は、事務局までご連絡ください。必要数分のシートを追加のご報告用ファイルを、改めて提供いたします。
 ・病棟コードが全て未入力の病院：医療機関全体として集計した確認用データを提供いたします。内容をご確認いただき、病棟ごとに分割集計した上で、ご報告ください。
 ○本様式にご記入のうえ、本確認・記入要領及び報告マニュアルに従って、11月30日(木)まで(必着)に事務局までにご提出ください。

※病棟の単位は、各病院における看護体制の単位をもって病棟として取り扱うものとします。特定入院科を算定する治療室・病室については、当該施設基準の要件を満たす体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。
 (特殊入院医療管理科、小児入院医療管理科、地域包括ケア入院医療管理科)※4を算定する場合は除く。
 ※病棟コードは、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている病院であって、「令和4年4月～令和5年3月診療分」の電子入院レセプトに一般病床または療養病床の入院に係る「病棟コード」を記録している場合、電子レセプトに記録済みの病棟コード(「1906****」の9桁コード)をご記入ください。
 上記以外の医療機関・病棟は、以下の病棟確認報告用ホームページに掲載されている「病棟確認報告に関する電子レセプト作成の手引き」をはじめとする通知及びマスターファイルをご参照のうえ、病棟ごとに病棟コード(「1906****」の9桁コード)を選定しご記入ください。
 (ただし、電子レセプトに記録していない場合、病棟コードの5桁目を「5」とすることは可とします)。
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>
 (厚生労働省ホームページ>政策について>分野別の政策一覧>健康・医療>医療>医療機能報告)

※1つの病棟単位に対して複数の「病棟コード」を付与、あるいは1つの「病棟コード」に対して複数の病棟単位が存在することのないようご留意ください。

* 病院における「全ての病棟」あるいは有床診療所において、集計内容の確認・修正を終えられたら、右の項目にチェックを入れてください。
 令和5年4月1日以降に開設された場合は右の項目にチェックを入れてください。チェックした場合は以降の回答は不要です。

都道府県番号を選択の上、医療機関コード7桁を入力し、「保存ボタン」をクリックしてください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ⑤ 都道府県番号・医療機関コードを入力すると、「02. 病棟コード・病棟名入力」欄に病棟一覧が自動的に表示されます。内容を確認し、必要に応じて修正してください。
 ※レセプト請求時に報告された病棟コードと病棟名が表示されます。
 ※有床診療所は1病棟のみ表示されます。

図5 編集画面（病棟票）

病棟No.	レセプトに印字または表示した名称	疾病機能	病棟コード	病棟名
<input type="checkbox"/> 1	個室急性期病棟01	1. 個室急性期 19061	0001	病棟A
<input type="checkbox"/> 2	急性期病棟02	2. 急性期 19062	0002	病棟B
<input type="checkbox"/> 3	回復期病棟03	3. 回復期 19063	0003	病棟C
<input type="checkbox"/> 4	慢性期病棟04	4. 慢性期 19064	0004	病棟D
<input type="checkbox"/> 5	病棟05	5. 病棟中 19065	0005	病棟E

病棟票の削除・追加はここから行います。ここで入力した情報は、病棟票と連携されます。**病棟票の入力を行っている場合は、誤って削除しないようご注意ください。**

*** 基本票の病棟を削除すると、連動して病棟票のプレプリントデータも削除されます。また、病棟を新規追加した場合は空の病棟票が生成されます（プレプリントはされません）。詳細は「【⑨-1 病棟票の削除・追加】」（P9）をご覧ください。**

*** 有床診療所の場合は、病棟票を追加しないでください。**

- ⑥ 入力が完了しましたら、[保存] ボタンをクリックして入力内容を保存します。ただし、保存後は保存前のデータに戻すことはできません。

図6 編集画面（基本票）

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ⑦ 「病棟票一覧」タブを選択すると、図7のとおり病棟票の一覧が表示されます。[詳細] ボタンをクリックすると、各病棟票の入力画面に移ります。
 ※ここで表示される病棟票は基本票で作成された病棟票と一致します。病棟名の編集や病棟票の追加・削除等は、一旦基本票の入力フォームに戻って操作を行ってください。

図7 病棟票一覧表示画面（病棟票）

「病棟一覧表」タブを選択すると、病棟票の一覧が表示されます。

リンク	病棟No	病棟コード	病棟名	病棟票1エラー件数	病棟票2エラー件数	病棟票3エラー件数	病棟票4エラー件数	手術票エラー件数	全身麻酔票エラー件数	更新日時
[詳細]	1	190610001	病棟A	0	0	0	0	0	0	2023/08/16 17:00:21
[詳細]	2	190620002	病棟B	0	0	0	0	0	0	2023/08/16 17:00:21

[詳細] ボタンをクリックすると、各病棟票の入力画面に移ります。

- ⑧ 病棟票は1病棟につき、病棟票（1/4）～（4/4）+手術票+全身麻酔票の6つのタブから構成されています。[編集] ボタンをクリックして、各画面を入力してください。
 ※複数の病棟票がある場合は、入力画面の病棟を間違えないよう、病棟票（1/4）のタブに記載してある病棟コード・病棟名を確認するようにしてください。

図8 閲覧画面（病棟票）

1病棟に対し6つのタブ全てをご確認・ご入力ください。

[編集] ボタンをクリックしてから入力を進めてください。

選択中の病棟票の病棟コード・病棟名は病棟票（1/4）の画面でのみ確認できます。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

図 10 編集画面（基本票）

削除したい病棟票にチェックをいれます。

	医療機関	病棟コード ※T46を入力	病棟名
<input type="checkbox"/>	高度急性期機能病棟01	1. 高度急性期 19061	0001 病棟A
<input type="checkbox"/>	急性期機能病棟02	2. 急性期 19062	0002 病棟B
<input checked="" type="checkbox"/>	回復期機能病棟03	3. 回復期 19063	0003 病棟C
<input checked="" type="checkbox"/>	慢性期機能病棟04	4. 慢性期 19064	0004 病棟D

チェックをいれた後、**【病棟票を削除する】** ボタンをクリックします。

病棟票を削除する + 病棟票を追加する

※病棟票の追加・削除は画面上部の保存ボタンを押すまで、内容は確定されません。
※有床診療所の場合は2病棟目以降の病棟票を追加しないでください。
(ただし、初回入力時に「病棟票が登録されていません」と表示されていた場合は、病棟票を1つ追加してください。)

g-mis--dev.sandbox.my.site.com の内容

選択した病棟票の情報が削除されます。本当によろしいでしょうか？
※画面上部の保存を押すまでは確定されません。

【病棟票を削除する】 ボタンをクリックした後、確認のポップアップ（1回目）が表示されます。削除する場合は、**【OK】** ボタンをクリックしてください。

OK キャンセル

g-mis--dev.sandbox.my.site.com の内容

[再確認]
病棟票を削除してもよろしいでしょうか。
よろしければ「OK」ボタンをクリックしてください。
※画面上部の保存を押すまでは確定しません。

ポップアップ（1回目）で**【OK】** ボタンをクリックした後、再確認のポップアップ（2回目）が表示されます。削除する場合は、**【OK】** ボタンをクリックしてください。

OK キャンセル

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

(ウ) 最後に右上の【保存】ボタンをクリックして入力内容を保存します。

※削除・追加の操作を取り消す場合には、【保存】ボタンをクリックせず、【キャンセル】ボタンをクリックすることで保存前の状態に戻すことができます。

図 11 編集画面（基本票）

【保存】ボタンをクリックして保存します。

✓	病棟No.	レポートに印字または表示した名称	疾病機能	病棟コード ※F46を入力	病棟名
<input type="checkbox"/>	1	高度急性期機能病棟01	1. 高度急性期 19061	0001	病棟A
<input type="checkbox"/>	2	急性期機能病棟02	2. 急性期 19062	0002	病棟B

【キャンセル】ボタンをクリックした場合は、編集破棄の確認が表示されますので【OK】ボタンをクリックしてください。元に戻ります。

g-mis--dev.sandbox.my.site.com の内容
編集を破棄しますか？
変更内容が保存されない可能性があります

OK キャンセル

【OK】ボタンをクリックします。

※保存して病棟票の削除を確定した場合でも、後日、病棟票を復旧させることができます。次ページをご確認ください。

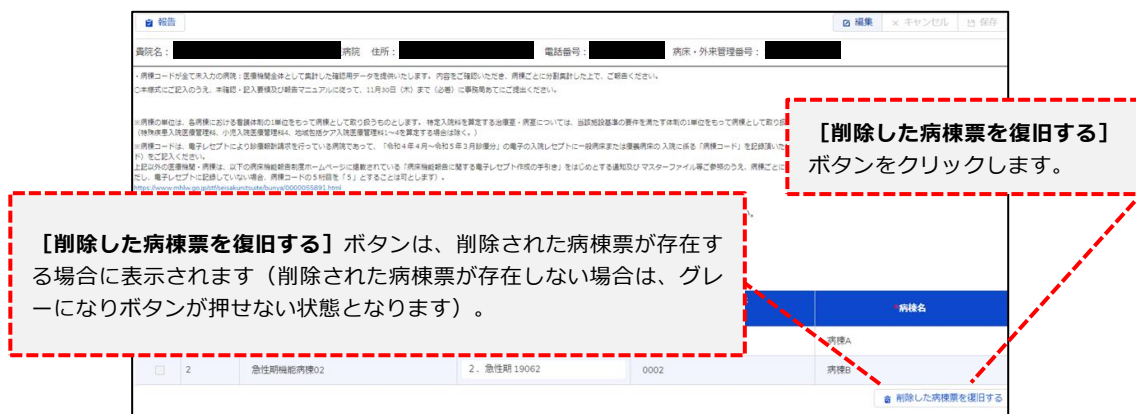
報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

【㉑-2 削除した病棟票を復旧する場合】

基本票の「削除した病棟票を復旧する」ボタンより削除前の状態に戻すことができます。その場合、復旧した病棟票のデータは削除された時点の状態に復旧されます。（初期状態に戻すことはできません。）

- (ア) 基本票の「削除した病棟票を復旧する」ボタンをクリックします。
 ※削除された病棟票が存在しない場合は、「削除した病棟票を復旧する」ボタンはグレーになりボタンが押せない状態となります。

図 12 閲覧画面（基本票）



- (イ) 復旧したい病棟票にチェックをいれ、「復旧」ボタンをクリックします。



- (ウ) 基本票の 02. 病棟コード・病棟名入力の欄の最後尾に、復旧した病棟が追加されます。
 ※病棟の表記順に決まりはありませんので、表記の順番はこのままで問題ありません。



報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

【⑩ 手術票の行の削除・追加】

(ア) 削除する場合は、削除したい手術にチェックを入れ、画面最下部の【手術票を削除する】ボタンをクリックします。追加の場合はそのまま【手術票を追加する】ボタンをクリックします。なお手術票には1ページあたり、10件ずつ表示されます。

※項目がない手術コードでは空欄となる項目もございますので、ご注意ください。

※削除・追加の操作を取り消す場合には、【保存】ボタンをクリックせず、【キャンセル】ボタンをクリックすることで編集前の状態に戻すことができます。

図 13 編集画面（手術票）

【保存】ボタン・【キャンセル】ボタン

3. 幅広い手術の個別の実施状況「令和4年4月から令和5年3月診療分」

個別の手術の実施状況

*コード	区分番号	枝番	項番	他I等	名称	1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
K	000	00	03	イ	テスト1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					レシプト件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					確定日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					確定料数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

削除する手術を選択

削除したい場合は、チェックをいれた後、【手術票を削除する】ボタンをクリックします。

行を追加したい場合は【手術票を追加する】ボタンをクリックします。

手術票を削除する

手術票を追加する

※手術票の追加・削除は画面上部の保存ボタンを押すまで、内容は確定されません。

(イ) 右上の【保存】ボタンをクリックして入力内容を保存します。

※削除・追加の操作を取り消す場合には、【保存】ボタンをクリックせず、【キャンセル】ボタンをクリックすることで編集前の状態に戻すことができます。

g-mis--dev.sandbox.my.site.com の内容

選択した手術票の情報が削除されます。本当によろしいでしょうか？

※画面上部の保存を押すまでは確定されません。

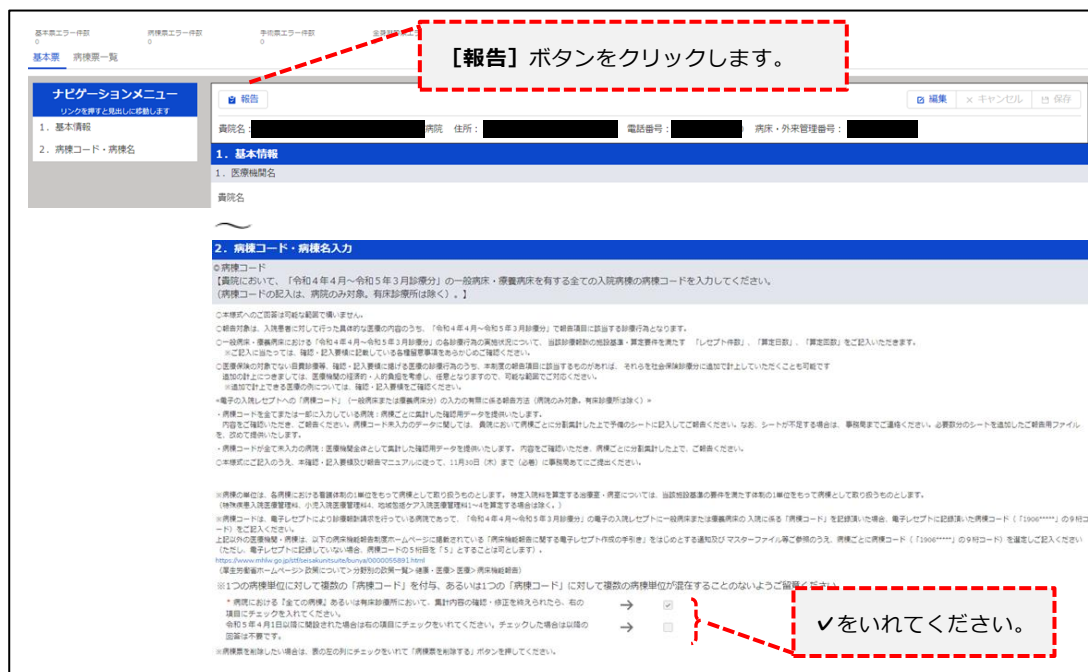
OK キャンセル

【手術票を削除する】ボタンをクリックした後、確認のポップアップが表示されます。削除する場合は、【OK】ボタンをクリックしてください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ⑪ すべての病棟票の入力を行い、保存が完了しましたら**【報告】**ボタンをクリックして入力した内容を報告します。

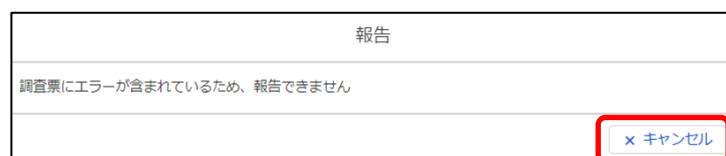
図 14 報告前 閲覧画面（基本票）



エラーがない場合は、下記の画面が表示されますので**【報告する】**ボタンをクリックして報告完了となります。



報告内容にエラーがある場合は、下記の警告画面が表示されます。**【キャンセル】**ボタンをクリックすると報告画面に戻りますので、ナビゲーションメニューのエラー項目をご確認の上、エラー箇所を修正してください。



ナビゲーションメニューにエラー項目件数が表示されます。該当項目をクリックの上修正をしてください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

【報告後に修正したい場合】※病院・有床診療所共通

報告後の修正は、報告期間内であれば【取戻し】ボタンをクリックすることで編集できます。修正後は【保存】ボタンをクリックした上で、再度報告を完了してください。

図 15 報告後 閲覧画面（基本票）

The screenshot shows a web interface for reviewing a report. At the top right, there are buttons for '編集' (Edit), '× キャンセル' (Cancel), and '保存' (Save). A red dashed box highlights the '取戻し' (Retrieve) button. Below the button, there is a text box containing the instruction: 「取戻し」ボタンをクリックします。 (Click the 'Retrieve' button). The main content area shows a form with fields for '病院名' (Hospital Name), '住所' (Address), '電話番号' (Phone Number), and '病床・外来管理番号' (Bed/Outpatient Management Number). The form is titled '1. 基本情報' (1. Basic Information) and includes a section for '医療機関情報訂正' (Medical Institution Information Correction) with a '試験データ' (Test Data) section.

下記ポップアップの【取戻し】ボタンをクリックして入力した内容を取戻します。

The screenshot shows a confirmation popup. At the top, it says '取戻し' (Retrieve). Below that, it says '取戻しを実行します。' (Execute Retrieve). At the bottom right, there are two buttons: '取戻し' (Retrieve) and '× キャンセル' (Cancel). A red dashed box highlights the '取戻し' button with the instruction: 【取戻し】ボタンをクリックするとポップアップが表示されるので【取戻し】ボタンをクリックしてください。 (Clicking the 'Retrieve' button will display a popup, so click the 'Retrieve' button.)

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

【PDF ファイルのダウンロード方法】

- 1) 図 16 の画面より PDF ファイルをダウンロードしたい報告様式をクリックしてください。

図 16 病床機能報告リストビュー画面

厚生労働省 G-MIS
医療機関等情報支援システム

各種資料
令和5年度_病床機能報告制度マニュアル(基本編)
令和5年度_病床機能報告制度マニュアル(全年度編)
令和5年度_病床機能報告_報告様式1記入要領(病院用)
令和5年度_病床機能報告_報告様式1記入要領(有床診療所用)
令和5年度_病床機能報告_報告様式2確認・記入要領(病院・有床診療所用)
令和5年度_病床・外床機能報告ダウンロードマニュアル

病床・外床機能報告 問合せフォーム
以下の連絡先と必要な医療機関は病院・外床機能報告 問合せフォームから申請してください。
病院・外床機能報告 問合せフォーム
・質疑・問合せ
・報告対象外医療機関申請
・意見の反映

報告状況について
・未作成：報告が作成されていない状態です。報告画面に進み、報告内容の入力をお願いします。
・作成中：報告が作成途中の状態です。すべての報告内容を入力し、「報告ボタン」から登録をお願いします。
・報告済み：報告が完了している状態です。修正を行う場合は、再提出の再提出をお願いします。

※病院・外床機能報告が報告対象外の場合、一部のグラフは表示されません。

すべて選択	病床・外床管理番号	エラーありなし	報告状況
タイトル			
令和5年度 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 様式1	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	あり	作成中
すべて表示			
すべて選択	病床・外床管理番号	エラーありなし	報告状況
タイトル			
令和5年度 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 様式2	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	なし	未作成
すべて表示			

- 2) 下記ポップアップ右上の【帳票出力】ボタンをクリックしてください。

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 様式2

報告済み 帳票出力

基本エラー件数 0 病院エラー件数 0 手続エラー件数 0 金銭取崩エラー件数 0 報告状況 作成中

基本票 病棟票一覧

【帳票出力】ボタンをクリックします。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- 3) 図 17 下部の [ZIP ファイルダウンロード] ボタンをクリックしてください。帳票に数値の「0」を表示しないにチェックをいれると、出力される帳票において、「0」で登録されている数値項目を空白で表示することができます。必要に応じてご活用ください。

図 17 ZIP ファイル出力画面（例：報告様式2）

ZIPファイル出力

以下のファイルをZIP化してダウンロードします。
※編集中の項目は保存するまで反映されません。
また、ファイル名に設定される日時は「ZIPファイルダウンロード」ボタン押下時です。
ZIPファイルダウンロード中に報告データが変更された場合には、変更が反映された状態で出力される可能性もございますのでご注意ください。

病床_様式2基本票
※都道府県番号および医療機関コードの保存前のため、病棟票は出力されません。

上記ファイルをダウンロードする場合は「ZIPファイルダウンロード」ボタンを、元の画面に戻る場合は「キャンセル」ボタンを押してください。

帳票に数値の「0」を表示しない
(選択すると値が「0」で登録されている数値項目を空白で表示します)

[ZIPファイルダウンロード](#) [キャンセル](#)

注) 医療機関コードの入力前の場合
病棟票は出力されません。

[ZIPファイルダウンロード]ボタンをクリックしてください。

- 4) 下記ポップアップの [OK] ボタンをクリックしてください。報告様式の詳細画面に戻ると Windows のダウンロードフォルダに ZIP ファイルが保存されています。

ダウンロード確認

病床_様式2_病院_20230816184209.zipをダウンロードします。

[OK](#)

[ZIPファイルダウンロード]ボタンをクリックするとダウンロード確認画面が表示されるので [OK] ボタンをクリックしてください。

※提出された報告内容において疑義が確認された場合、制度運営事務局から問い合わせ及び修正依頼を行うことがあります。

※報告期間以降に修正の必要が生じた場合は制度運営事務局までご連絡ください。

※開発中の画面のため、実際の画面とは異なる場合があります。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

【報告状況の確認】

図 18 の画面より各報告様式の報告状況をご確認いただくことが可能です。対応状況に応じて「未作成」、「作成中」、「報告済み」と表示されます。

図 18 病床機能報告リストビュー画面

厚生労働省 G-MIS
医療機能情報支援システム

各種資料
令和5年度 病床機能報告様式マニュアル(基本編)
令和5年度 病床機能報告様式マニュアル(各診療科)
令和5年度 病床機能報告 報告様式1 記入要領 (院内診療用)
令和5年度 病床機能報告 報告様式2 記入要領 (病院・有床診療所用)
令和5年度 病院・有床機能報告ダッシュボードマニュアル

病院・外来機能報告 報告フォーム
以下の選択が必要な医療機関は病院・外来機能報告 報告フォームから申請してください。
病院・外来機能報告 報告フォーム
• 届出・届出
• 報告対象外正産科報告
• 変更しな様

報告状況について
• 未作成：報告が作成されていない状態です。報告画面に遷移し、報告項目の入力をお願いします。
• 作成中：報告が作成途中の状態です。すべての報告項目を入力し、「報告ボタン」から登録をお願いします。
• 報告済み：報告が完了している状態です。修正を行う場合は、再入力の実施をお願いします。

※病院・外来機能報告が報告対象外の場合、一部のグラフは掲載されません。

すべて選択

タイトル	病院・外来管理番号	エラーありなし	報告状況
令和5年度 〇〇〇〇 病院 病床機能報告様式 様式1	〇〇〇〇〇〇〇〇	なし	作成中

すべて表示

すべて選択

タイトル	病院・外来管理番号	エラーありなし	報告状況
令和5年度 〇〇〇〇 病院 病床機能報告様式 様式2	〇〇〇〇〇〇〇〇	あり	作成中

すべて表示

ダッシュボード
病院・外来機能報告ダッシュボード(医療機関)

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

【報告期間終了後の差戻し依頼の連絡】

① 図 19 の画面より「病床・外来機能報告 問合せフォーム」をクリックしてください。

図 19 病床機能報告リストビュー画面



報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

② 「病床・外来機能報告 問合せフォーム」にて【新規】ボタンをクリックしてください。登録いただいた問い合わせが全て表示されます。なお、対応状況が「3：完了」の問い合わせは修正できません。

対応状況は、下記のパターンがあります。

1：未対応

制度運営事務局がまだ登録内容を確認していない状態です。
(登録内容編集可能)

2：対応中

制度運営事務局が登録内容を確認し、対応を行っている状態です。
(登録内容編集可能)

3：完了

登録者に連絡が行われ、問い合わせが終了している状態です。
(登録内容編集不可)

図 20 病床・外来機能報告 問合せフォーム

厚生労働省 G-MIS
医療機関等情報支援システム

ホーム 調査 問合せ お問合せ FAQ レポート 医療機関マスタ

検索キーワードを入力してください

検索 担当 67

詳細・照会の入力について
「質疑・照会」は病床・外来機能報告の制度に関するお問合せのみ受け付けております。
それ以外のG-MISのシステムに関するお問合せはこちらからお問い合わせください。

差戻し依頼の氏名・電話番号について
差戻し依頼に記載される氏名・電話番号は事務局から確認のためお電話に利用する場合がございますので、
担当者に本人の連絡先をご入力ください。

病床・外来機能報告 問合せフォーム
すべて選択

6個の項目・並び替え基準・タイトル・検索条件 すべての病床・外来機能報告 問合せフォーム・数形順 に更新されました

タイトル ↑	病院名	病院・外来管理番号	レコードタイプ	対応状況	作成日
1. 質疑・照会	病院		1. 質疑・照会	2. 対応中	2023/07/18 17:34
2. 報告対象外区画編成申告書	病院		2. 報告対象外区画編成申告書	1. 未対応	
3. 報告連絡連絡	病院		3. 報告連絡連絡	1. 未対応	
4. 差戻し依頼	病院		4. 差戻し依頼	1. 未対応	
5. 病院_1_ 質疑・照会(完了)	病院		1. 質疑・照会(完了)	3. 完了	
6. 病院_1_ 質疑・照会	病院		1. 質疑・照会	1. 未対応	2023/08/09 17:33

【新規】ボタンをクリックしてください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

③ 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面にて「3. 差戻し依頼」を選択し、【次へ】ボタンをクリックしてください。【キャンセル】ボタンをクリックすると画面が閉じます。

使用用途と期間は以下の通りです。

- 1：質疑・照会（使用期間：令和5年9月21日～令和6年1月31日23:59）
病床・外来機能報告の報告項目について疑義が発生した場合は、こちらから制度運営事務局にご連絡ください。
- 2：報告対象外医療機関申告書（使用期間：令和5年9月21日～11月16日23:59）
自院が病床・外来機能報告の報告対象外である場合は、こちらから制度運営事務局にご連絡ください。
- 3：差戻し依頼（使用期間：令和5年12月1日～12月26日23:59）
病床・外来機能報告の報告結果を申請すると、差戻しを行わない限り修正することができません。再編集を行いたい場合は、こちらから制度運営事務局にご連絡ください。

図 21 病床・外来機能報告 問合せ内容選択画面

新規病床・外来機能報告 問合せフォーム

レコードタイプを選択

- 1. 質疑・照会
- 2. 報告対象外医療機関申告書
- 3. 差戻し依頼

キャンセル 次へ

「3. 差戻し依頼」を選択し、【次へ】ボタンをクリックしてください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ④ 病床・外来機能報告 問合せ入力画面にて各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックしてください。保存時に、入力内容のチェック処理がかかります。エラーが表示された際は、エラー内容を確認し、入力内容の修正をお願いします。一度、「病床・外来機能報告 問合せフォーム」に登録いただいた内容は削除できません。誤登録等の理由で「病床・外来機能報告 問合せフォーム」の内容を取り消したい場合は、「病床・外来機能報告 問合せフォーム」の「1. 質疑・照会」よりご連絡ください。（該当の問い合わせの対応状況を「3：完了」にいたします。）

※見出し項目先頭に（*）がある項目（氏名（ふりがな）、氏名、電話番号、差戻しが必要な様式）は入力・選択必須

図 22 病床・外来機能報告 問合せ入力画面

新規病床・外来機能報告 問合せフォーム: 3. 差戻し依頼

対応状況
1. 未対応

基本情報

- * 氏名（ふりがな）
- 氏名
- 部署名
- * 電話番号
- FAX番号
- e-mail

差戻し依頼

- * 差戻しが必要な様式を選択してください

選択可能

- 1. 病床機能報告様式1
- 2. 病床機能報告様式2
- 3. 外来機能報告様式1
- 4. 外来機能報告様式2

選択済み

-

* 差戻し依頼理由

その他

備考

キャンセル 保存 & 新規 保存

必須項目を入力し、[保存] ボタンをクリックしてください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

- ⑤ 病床・外来機能報告 問合せ詳細画面にて登録内容を確認してください。登録内容を修正する場合は【編集】ボタンをクリックすると病床・外来機能報告 問合せ入力画面に戻ります。登録内容に修正がない場合は、ブラウザのタブを閉じてください。タブを閉じる際には、誤ってWindowsのブラウザを閉じないようにご注意ください。

図 23 病床・外来機能報告 問合せ詳細画面

厚生労働省 G-MIS
医療機関等情報支援システム

ホーム 調査 ▼ その他 ▼

検索キーワードを入力してください

病院

病床・外来機能報告 医療機関連絡
申請番号-00000018

編集

対応状況
1. 未対応

基本情報

病院名
[Redacted]

病床・外来管理番号
[Redacted]

郵便番号
[Redacted]

住所
[Redacted]

氏名 (ふりがな)
[Redacted]

氏名
[Redacted]

部署名
[Redacted]

電話番号
[Redacted]

FAX番号
[Redacted]

e-mail
[Redacted]

差戻し依頼

差戻しが必要な様式を選択してください
1. 病床機能報告様式1; 2. 病床機能報告様式2

差戻し依頼理由
入力内容に誤りがあったため。

その他
備考
[Redacted]

登録内容を修正する場合は【編集】ボタンをクリックしてください。

- ⑥ 申告完了については「病床・外来機能報告 問合せフォーム」よりご確認ください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

(3) 報告様式2について

■「報告様式2」について

- 「報告様式2」はレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）から事前に集計した結果をプレプリントしております。参考値としてご活用ください。
- 報告様式2を用いた「Ⅱ② 具体的な医療の内容に関する項目」に関する報告項目は、診療報酬で定める診療行為に着目して設定されています。
- 病棟コードにもとづき**病棟単位**で各項目についてご報告ください。
- 「報告様式2」は、施設単位で作成する「①基本票」と、病棟単位で作成する「②病棟票」で構成されています。それぞれにご記入のうえ、ご提出ください。本項目の記載者は、施設管理者及び事務部門の担当者を想定しています。
- 一部の項目では、項目の内訳を入力すると合計が自動計算される等、入力の簡易化や誤入力防止のための機能を設けています。自動計算される項目への直接の入力はできませんので、他の項目を入力するうえ、計算結果をご確認ください。
- 他項目の入力結果より報告が不要となる一部の項目については、当該項目の回答欄が入力不可（グレーアウト）となる機能を設けています。

① 基本票：

- ・ 貴院の医療機関名称や、病床・外来管理番号、医療機関住所、本報告のご担当者・連絡先、令和5年4月の診療報酬請求時にレセプトに記載した都道府県番号（2桁）・医療機関コード（7桁）等についてご報告ください。
- ・ なお、医科歯科併設の場合は、医科の医療機関コードと歯科の医療機関コードの両方をそれぞれ所定の欄にご報告ください。
- ・ 病院は、令和4年4月～令和5年3月診療分の病棟コード（9桁）についてもあわせてご報告ください。

② 病棟票：

- ・ 一般病床・療養病床における令和4年4月から令和5年3月診療分の各診療行為の実施状況について、「病棟単位」で当該診療報酬の「レセプト件数」、「算定日数」、「算定回数」をご報告ください。
- ・ 本病棟票における「病棟」の単位は、原則、病院である保険医療機関の各病棟における看護体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします（「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」（令和4年3月4日保医発0304第2号）に則る）。ただし、特定入院料（※）を算定する治療室・病室については、当該施設基準の要件を満たす体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

※特殊疾患入院医療管理料、小児入院医療管理料4、地域包括ケア入院医療管理料1～4を算定する場合は除く。

- ・本項目の記載に当たっては、上記の「基本票」でご記入いただいた「病棟コード」と各病棟票1枚目の「病棟コード」が一致するようご注意ください。
- ・一般病床・療養病床における令和4年4月～令和5年3月診療分の電子入院レセプトに記載された「病棟コード」に未入力や入力誤りがある場合は、厚生労働省「令和5年度 病床・外来機能報告」事務局（以下「制度運営事務局」という。）では正しい病棟単位で集計を行うことができません。医療機関において修正を行ったうえでご報告ください（詳細は「Ⅱ. 報告様式2の確認・記入の手引き」をご参照ください）。
- ・なお、特定入院料、療養病棟入院基本料及び有床診療所療養病床入院基本料等において、入院料に包括されている診療行為は計上しないでください。ただし、DPC対象患者において、診断群分類により包括評価となる診療行為については計上してください。

<「レセプト件数」、「算定日数」、「算定回数」のカウントにおける留意事項>

- ◎各項目のうち、診療報酬点数表に定められた1行為が「1日につき1回」とされているもの等、「算定回数」と「算定日数」が同一となるものについては、「算定回数」のみご記入ください。また、「入院中1回」「退院時1回」とされているもの等、「レセプト件数」と「算定日数」「算定回数」が同一となるものについては、「レセプト件数」のみご報告ください。
- ◎細目毎に算定日数をカウントしておりますが、合計欄では同日に算定された重複分をカウントしていないため必ずしも内訳と合計欄が一致するとは限りません。レセプト件数についても同様に、同一のレセプトにおいて複数の細目の診療報酬を算定していた場合は、重複カウントせず、1件とカウントしてご報告いただくため必ずしも内訳と合計欄が一致するとは限りません。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

■ 報告対象となる具体的な医療の内容の範囲について

- 報告対象は、一般病床又は療養病床の入院患者に対して行った具体的な医療の内容のうち、令和4年4月から令和5年3月診療分において報告項目に該当する診療行為です。審査支払機関の一次審査決定後の診療報酬の項目に基づきご報告ください。
- 令和4年4月診療分より前の診療分は、令和4年5月以降審査分でも報告対象外となります。
- 以下の診療行為のうち、本制度の報告項目に該当するものは、社会保険診療分に追加してご計上ください。追加分の計上につきましては、医療機関の経済的・人的負担を考慮し、任意となります。可能な範囲でご対応ください。

- ・ 紙レセプトによる請求
- ・ 介護療養病床において医療の給付を受けた場合の請求
- ・ 一般病床・療養病床に入院するショートステイ利用者、正常な妊産婦、院内で出生した正常な新生児、生母の入院に伴って入院した健康な新生児又は乳児、治験、人間ドック、母体保護法等での入院者等
- ・ 次頁に掲げる医療保険の対象でない労働者災害補償保険等

※ 令和3年度病床機能報告より、公費負担医療制度による請求分が集計されています。

（追加でご計上いただきたい医療保険の対象でない労働者災害補償保険等の例）

（追加は任意です）

- ・ 労災保険制度、労働福祉事業としての医療
- ・ 自動車損害賠償責任保険の療養
- ・ その他の自由診療

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

■ 報告における留意点

- G-MIS 上の WEB フォームにおいて提供する集計データには、令和4年4月から令和5年3月診療分（令和5年4月まで審査分）の電子入院レセプト（医科・DPC・歯科レセプト）を「病棟コード」（一般病床又は療養病床分）にもとづき**病棟単位で集計した値**を記載しています。
 - 紙媒体を使用して集計値を修正、あるいは追加計上する場合には、修正した値、あるいは追加計上する値を含めた合計値をご報告ください。
 - 紙媒体による報告を希望する医療機関には、予め確認用の集計データがプレプリントされた報告様式2を11月中旬以降に送付する予定です。
 - なお、報告期間後に修正の必要が生じた場合は制度運営事務局までご連絡ください。報告様式は、G-MIS 上の WEB フォームで直接入力されたものについては、そのまま G-MIS 上の WEB フォームで保存のうえ、[報告] ボタンを押すことにより提出することができます。
 - 集計データが表示される病棟票は、基本票に入力いただいた医療機関コードと制度運営事務局で保有するマスター情報を照合し一致することで、提供が可能となります。一方で、医療機関の開設者や所在地の変更等があった場合には、制度運営事務局で保有するマスター情報と一致せず、集計データが表示されないことがあります。この場合においても、同一の医療機関と見なすことができる場合には、個別の対応により集計データが提供できる場合もありますので、制度運営事務局までお問い合わせください。
 - 感染症病床に、感染症患者以外の患者が入院して報告対象となる入院基本料等を算定している場合等、各項目に一般病床・療養病床以外に入院した患者の診療行為分が含まれている場合、当該診療行為分を除外した数値にご修正ください。
- ※ 一般病床・療養病床における各診療行為等の実施の有無は、「一般病棟入院基本料」、「療養病棟入院基本料」、「特定機能病院一般病棟入院基本料」、「専門病院入院基本料」、「障害者施設等入院基本料」、「救命救急入院料」、「特定集中治療室管理料」、「ハイケアユニット入院医療管理料」、「脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「小児特定集中治療室管理料」、「新生児特定集中治療室管理料」、「総合周産期特定集中治療室管理料」、「新生児治療回復室入院医療管理料」、「特殊疾患入院医療管理料」、「小児入院医療管理料」、「回復期リハビリテーション病棟入院料」、「地域包括ケア病棟入院料」、「地域包括ケア入院医療管理料」、「特殊疾患病棟入院料」、「緩和ケア病棟入院料」、「特定一般病棟入院料」、「有床診療所入院基本料」、「有床診療所療養病床入院基本料」、「特定機能病院リハビリテーション病棟入院料」、「短期滞在手術等基本料3」と同日に算定していることをもって判断し、電子レセプトを集計しています。
- ※ 「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法」（平成20年厚生労働省告示第93号、平成30年一部改定）に定められた診断群分類点数表により包括評価となる診療行為は、コーディングデータレコードより、入院料に包括されている診療行為以外の診療行為について集計しています。
- ※ 介護療養病床において医療の給付を受けた場合の医療保険請求には「入院外レセプト」を使用するため、上記の入院レセプトを集計したデータには当該請求分は含まれません。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

≪電子入院レセプトへの「病棟コード」（一般病床又は療養病床分）の入力の有無に係る報告方法（病院のみ対象。有床診療所は除く）≫

病棟コードが未入力のレセプトデータについては、病棟コードは 000000000 と表示されます。

【病棟コードを全て又は一部に入力している医療機関】

- ・ 病棟ごとに集計した確認用の集計データが参照できます。内容をご確認いただき、ご報告ください。
- ・ 病棟コードが未入力分のデータに関しては、000000000 病棟としてまとめて集計した確認用の集計データが参照できます。医療機関において病棟ごとに分割集計した上でご報告ください。医療機関で把握しているデータと提供した集計データが異なる等、振分けが困難な場合は、医療機関で把握しているデータを病棟ごとに集計してご報告いただくか、病棟コードが未入力のレセプトデータ分を特定の病棟にまとめた上でご報告ください。

【病棟コードが全て未入力の医療機関】

- ・ 医療機関ごとに 000000000 病棟として集計した確認用の集計データが参照できません。内容をご確認いただき、医療機関において病棟ごとに分割集計した上で、ご報告いただくか、病院全体の実績を特定の病棟にまとめた上でご報告ください。
- ※ 紙媒体による報告を希望し、上記の条件に該当する医療機関には、予め確認用の集計データがプレプリントされた報告様式2を 11 月中旬以降に送付する予定です。ただし、病棟数の多い病院等の場合、送付する紙媒体の量が膨大になるため、個別にご確認させていただくことがありますので、予めご了承ください。

(4) 報告期限

- 報告期限は 11 月 30 日 23:59 です。

報告内容に不備を確認した場合、制度運営事務局より問い合わせをさせていただくことがあります。また、提出期限直前に報告した場合、制度運営事務局による確認が翌月になる場合があり、ご提出いただいたデータに再度の不備があった際の修正期間が短くなる可能性があります。紙媒体で提出した場合のデータの不備は、制度運営事務局より電話で照会予定です。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

(5) 問い合わせ窓口

- 病床機能報告の報告作業において不明点がありましたら下記の問い合わせ窓口へ電話にてご連絡ください。電話受付時間内のお問い合わせが難しい場合、G-MIS サイトの連絡フォーム「病床・外来機能報告 問合せフォーム」あるいはFAXにてご連絡ください。「病床・外来機能報告 問合せフォーム」での問い合わせ方法については『令和5年度病床機能報告 報告マニュアル〈②手順編〉』の【病床・外来機能報告 問合せフォーム「1. 質疑・照会」の操作方法】をご覧ください。
- なお、FAXでのお問い合わせも可能です。その場合は病床・外来管理番号（注）、医療機関名、担当者名、所在地、電話番号を必ずご記載ください。
- お問い合わせいただく前に本資料『令和5年度病床機能報告 確認・記入要領』と『令和5年度病床機能報告 報告マニュアル〈①基本編〉』、『令和5年度病床機能報告 報告マニュアル〈②手順編〉』をはじめとする関連資料をご参照いただいたうえで、ご不明点がある場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。

※ 厚生労働省のHPよりダウンロードできます。

URL : <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>

- 問い合わせ内容によっては窓口が異なりますので、該当の問い合わせ窓口におかけ直しをお願いする場合があります。
- 報告期限の間際は、お問い合わせが多く発生することが予想されるため、回答にお時間をいただく場合があります。関連資料等をご参照いただき、お早めに報告様式をご確認・ご報告ください。

(注) 病床・外来管理番号は報告対象医療機関を管理するための番号です。

報告様式2（病院・有床診療所共通）Ⅰ. 報告の概要

問い合わせ窓口 厚生労働省「令和5年度病床・外来機能報告」事務局

委託先

報告内容に関するお問い合わせ：株式会社三菱総合研究所（制度運営事務局）

※ 病床・外来機能報告の報告方法・内容、プレプリントデータ、その他、病床・外来機能報告制度についてはこちらにお問い合わせください

G-MISに関するお問い合わせ：厚生労働省 G-MIS 事務局

※ ユーザー名、G-MIS の画面操作方法、システム障害発生時等についてはこちらにお問い合わせください

電話（フリーダイヤル） 0120-142-305 [平日9:00~17:00 受付]

※ 報告開始日である10月1日（日）は、9:00~17:00の受付を予定しています

FAX（制度運営事務局専用） 03-3273-8677 [24時間受付]

※ FAX の場合は病床・外来管理番号、医療機関名、担当者名、所在地、電話番号を必ずご記載ください

病床・外来機能報告 問合せフォーム（G-MIS サイトの連絡フォーム） [24時間受付]

※ 電話、FAX の開設期間は令和5年9月20日9:00~12月27日17:00です

※ 「病床・外来機能報告 問合せフォーム」の開設期間は令和5年9月21日9:00~令和6年1月31日23:59です

電話でお問い合わせいただく場合、音声ガイダンスが流れます。

音声ガイダンスに従い、お問い合わせ内容の番号をご入力ください。

問い合わせ内容によっては別の窓口の番号をお伝えしてかけ直していただく場合があります。

報告様式2（病院・有床診療所共通）II. 確認・記入の手引き

II. 報告様式2の確認・記入の手引き

報告様式2の各項目の報告に当たっては、下記の一般事項及び各項目の記入の手引きをご参照ください。

- 本項目では、一般病床・療養病床を有する病棟における令和4年4月から令和5年3月診療分の各診療行為の実施状況について、当該診療報酬の「レセプト件数」、「算定日数」、「算定回数」は、施設管理者及び事務部門の担当者がご確認、ご報告ください。
- 「病棟コード」にもとづき病棟単位で各項目を集計していただくこととなります（病棟単位の集計は、病院のみ対象）。
- ただし令和4年4月～令和5年3月診療分の電子入院レセプトに記載した「病棟コード」（一般病床又は療養病床分）に以下のような入力の誤りがある場合には、制度運営事務局では正しい集計を行うことができません。正しい値に修正を行い、ご報告ください。

留意事項 《重要事項のお知らせ》も併せてご確認ください。

《電子入院レセプトで「病棟コード」が「全て未入力」の場合》

- 病棟コードが未入力のレセプトデータの場合、病棟コードは00000000と表示されます。00000000病棟を誤って削除しないようご注意ください。
- 医療機関全体として集計した確認用の集計データを提供します。ただし、当該ファイルは「病棟単位」の集計データではないため、内容をご確認いただき、医療機関において病棟ごとに分割集計した上で、ご報告いただくか、病院全体の実績を特定の病棟にまとめた上でご報告ください。

《電子入院レセプトで「病棟コード」が「一部未入力」の場合》

- ある病棟における病棟コードがすべて未入力の場合には、当該病棟分について病棟単位に集計したうえで、ご報告ください。
- 一部のレセプトデータ等において病棟コードが未入力の場合には、未入力分について、病棟コードに基づいて集計した内容に合算し、ご報告ください。
- 病棟コードが入力されているレセプトデータについては病棟ごとに集計し、病棟コードが未入力のレセプトデータについては、未入力分を合わせて集計した確認用の集計データを提供します。ただし、当該ファイルは完全な「病棟単位」の集計データではないため、医療機関において病棟ごとに分割集計したうえでご報告ください。医療機関で把握しているデータと提供した確認用の集計データが異なる等、振分けが困難な場合は、医療機関で把握しているデータを病棟ごとに集計してご報告いただくか、病棟コードが未入力のレセプトデータ分を特定の病棟にまとめた上でご報告ください。

《1つの病棟単位に対して複数の「病棟コード」が入力されている場合》

- 正しい病棟単位に集計内容を集約して、合算のうえ、ご報告ください。

《1つの「病棟コード」に対して複数の病棟単位が混在している場合》

報告様式2（病院・有床診療所共通）II. 確認・記入の手引き

□ 正しい病棟単位に、貴院において病棟ごとに分割集計した上で、分割した病棟を「①基本票」で追加し、追加された「②病棟票」でご報告ください。

□ 集計内容に一般病床又は療養病床以外の入院が含まれている場合には、一般病床又は療養病床以外の内容を除外してご報告ください。

《一般病床又は療養病床以外の病床に「病棟コード」が入力されている場合》

□ 一般病床又は療養病床の入院が報告対象となるため、一般病床又は療養病床以外の病棟はご報告不要です。

《電子入院レセプトで「病棟コード」が正しく入力されていない場合》

□ 制度運営事務局では、電子入院レセプトの病棟コードを修正、再集計することができません。確認用の集計データを参照のうえ、必要に応じてご修正いただき、ご報告ください。

■ 医科レセプトと歯科レセプトの両方の医療機関コードをお持ちの医療機関においては、医科と歯科を合わせた数値をご確認、ご報告ください。

■ なお、報告の対象となる病棟の範囲は、許可病床として一般病床・療養病床を有する病棟のみとなります。医療保険の対象でない公費負担医療、労災保険制度や労働福祉事業としての医療、自賠責、治験、人間ドック、母体保護法、その他の自由診療等での入院者、介護保険の対象である介護療養病床における医療等を行う病床を有する病棟についても「②病棟票」を作成してください。

また、休棟中の病棟であっても、許可病床として一般病床・療養病床を有する場合は「②病棟票」を作成してください。ただし、例えば精神病床だけの病棟等、一般病床・療養病床を有さない病棟は報告不要となります。

■ 本病棟票における「病棟」の単位は、原則、病院である保険医療機関の各病棟における看護体制の1単位をもって1病棟として取り扱うものとします（「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」（令和4年3月4日保医発0304 第2号）に則る）。ただし、特定入院料（※）を算定する治療室・病室については、当該施設基準の要件を満たす体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。

※特殊疾患入院医療管理料、小児入院医療管理料4、地域包括ケア入院医療管理料1～4を算定する場合は除く。

■ 病床機能報告制度では、医療法第7条第1項から第3項に基づいて開設許可を受けている一般病床・療養病床が報告の対象となります。基準病床数制度において特例とされている特定の病床等も含めてご報告ください。

■ また、一般病床・療養病床と一体となった看護単位である結核病床、感染症病床を有する病棟の場合、一般病床・療養病床における診療行為のみ対象としてご報告ください。

報告様式2（病院・有床診療所共通）II. 確認・記入の手引き

確認・記入に当たっての留意事項

◎細目毎に算定日数をカウントしておりますが、合計欄では同日に算定された重複分をカウントしていないため必ずしも内訳と合計欄が一致するとは限りません。同様に、レセプト件数についても、同一のレセプトにおいて複数の細目の診療報酬を算定していた場合、細目ではそれぞれでカウントしていただきますが、合計欄では重複してカウントせず、1件とカウントしていただくため必ずしも内訳と合計欄が一致するとは限りません。

※ 合計欄のレセプト件数、算定日数が、内訳の個別の項目の数値を下回ること、あるいは、内訳の合計よりも大きくなることはありません。ご注意ください。

例1) 「算定する入院基本料・特定入院料等 総数」において、「特定集中治療室管理料1」算定治療室に14日間入院した後、算定要件に該当しない患者としてさらに3日間入院して「急性期一般入院料1」を算定した場合、内訳では「特定集中治療室管理料1」1件・14日、「急性期一般入院料1」1件・3日とカウントし、また、合計欄では1件・17日とカウントする。

例2) 「大動脈バルーンパンピング法」を初日から3日間実施した場合、内訳では「初日」1件・1日・1回、「2日目以降」1件・2日・2回とカウントし、また、合計欄では1件・3日・3回とカウントする。

例3) 骨悪性腫瘍手術と人工骨頭挿入術を同時に実施した場合、内訳では「骨悪性腫瘍手術」1件・1日・1回、「人工骨頭挿入術」1件・1日・1回とカウントし、「手術総数」の合計欄では1件・1日・2回とカウントする。

◎特定入院料、療養病棟入院基本料及び有床診療所療養病床入院基本料等において、入院料に包括されている診療行為は計上しないでください。ただし、DPC対象患者において、診断群分類により包括評価となる診療行為については計上してください。

◎また、本確認・記入要領において特段の記載がある場合を除き、診療報酬点数表において、ある診療行為と同時に別の診療行為を行った場合に別の診療行為の費用は当該診療行為の所定点数に含まれるとされているものについては、別の診療行為分は計上しないでください。

例4) 「J045 人工呼吸」と同一日に「D220 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ」を行った場合、これらに係る費用は人工呼吸の所定点数に含まれるため、呼吸心拍監視の項目には計上しない。

報告様式2（病院・有床診療所共通）II. 確認・記入の手引き

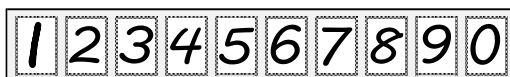
G-MIS 上の WEB フォームの入力における留意事項

- ・ G-MIS 上の WEB フォームでは、入力内容に不備がある場合画面上にエラーメッセージが赤字で表示されます（詳細は「Ⅲ. 報告エラーについて」をご参照ください）。
- ・ 必須項目が未入力あるいはエラーメッセージが表示される場合、入力内容の見直しが必要になります。メッセージの内容をご確認のうえ、ご入力・ご修正ください。

紙媒体に数字を記入する際の留意事項

- ・ 数字を記入する欄は、右詰めでご記入ください。また、複数の桁の欄がある場合、空いている桁はご記入いただく必要はありません。
- ・ 紙媒体の報告様式に数字をご記入する際は下記の例に従ってください。

<数字記入例>



<悪い記入例>



1にカギをつける



4の上部が閉じている(9と混同)



0か6か不明



枠から数字がはみ出ている

(1) 「基本票」の確認・記入要領

- 貴院の医療機関名称や、病床・外来管理番号、医療機関住所、本報告のご担当者・連絡先、令和5年4月の診療報酬請求時にレセプトに記載した都道府県番号（2桁）・医療機関コード（7桁）、令和4年4月から令和5年3月診療分の病棟コード（9桁）等について、施設管理者及び事務部門の担当者をご確認・ご報告ください。

◎貴院名	令和5年7月1日時点の貴院の医療機関名称をご確認ください。
◎病床・外来管理番号 (送付状に記載の8桁コード)	9月下旬に医療機関あてに発送しております郵便物の送付状に記載されている病床・外来管理番号と相違ないか、ご確認ください。 なお、病床・外来管理番号は報告対象医療機関を管理するための番号です。
◎医療機関住所	令和5年7月1日時点の貴院の郵便番号、所在地をご報告ください。
◎報告担当者	報告内容についてお問合せする場合がありますので、ご担当者の氏名及び部署、電話番号、FAX番号、e-mailアドレスをご報告ください。
◎病院・有床診療所の種別	令和5年7月1日時点における貴院の病院・有床診療所（診療所・歯科診療所）の種別をご報告ください。
◎都道府県番号・医療機関コード	貴院において令和5年4月の診療報酬明細書を作成する際に記載した都道府県コード（2桁）、医療機関コード（7桁）をご記入ください。 なお、 <u>医科レセプト用と歯科レセプト用の医療機関コードの両方</u> をお持ちの場合には、両方ともご記載ください。医科・歯科両方のコードを保有する医療機関の場合、両方のコードを正しく入力してから保存ボタンを押してください。片方のコードのみの入力や誤った入力を5回以上行った場合はロックがかかります。その場合は制度運営事務局へお問い合わせください。
【提供された集計内容を確認し、必要な修正を終えた場合】	本項目は、貴院が電子レセプトにより診療報酬請求を行っており、「入院レセプト」及び「病棟コード」の入力がある医療機関の場合のみ、ご回答いただきます。 <u>病院における全ての病棟あるいは有床診療所において、制度運営事務局から提供された電子の入院レセプトの集計内容を確認した結果、修正の必要がない場合についても、報告は必須となります。その場合、該当欄にチェックを入れてください。</u>
【令和5年4月1日以降に開設された医療機関の場合】	令和5年4月1日以降に開設された医療機関の場合、該当欄にチェックを入れてください。その場合、後述の「病棟コード」と「②病棟票」の回答は不要です。
◎病棟コード (病院のみ対象。 有床診療所は除く)	当該病棟の病棟コードについて、 <u>病院のみ必須</u> でご記入ください。レセプトに印字又は表示した名称が自動計算にて表示されますので、あわせてご確認ください。なお、病棟コードの考え方は、 <u>後述する「②病棟票」の「病棟コード・病棟名」と同様</u> です。 有床診療所は令和4年4月～令和5年3月の医療機能を選択してください。病棟コード・病棟名の報告は不要です。

(2) 「病棟票」の確認・記入要領

- 本項目では、一般病床・療養病床における令和4年4月から令和5年3月診療分の各月の診療実績についてご報告ください。

病床・外来管理番号・貴院名

病床・外来管理番号、及び令和5年7月1日時点の貴院名を必ずご報告ください。

病棟コード・病棟名
(病院のみ対象。
有床診療所は除く)

当該病棟の病棟コード、病棟名について、病院のみ必須でご記入ください。レセプトに印字又は表示した名称が自動計算にて表示されますので、あわせてご確認ください。

1つの病棟単位に対して複数の「病棟コード」を付与、あるいは1つの「病棟コード」に対して複数の病棟単位が混在することのないようご注意ください。

病棟コードは、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている病院であって、令和4年4月から令和5年3月診療分の電子の入院レセプトに「病棟コード」（一般病床又は療養病床分）を記録頂いた場合、電子レセプトに記録頂いた病棟コード（「1906*****」の9桁コード）をご報告ください。

※病棟コードを全て又は一部に入力している病院は、病棟ごとに集計した集計データを提供します。内容をご確認のうえ、ご報告ください。病棟コード未入力
のデータに関しては、貴院において病棟ごとに分割集計した上で予備のシートに記入してご報告ください。

※病棟コードが全て未入力の病院は、医療機関全体として集計した集計データを提供します。内容をご確認いただき、病棟ごとに分割集計した上で、ご報告ください。

※電子の入院レセプトで病棟コードの病棟単位に誤りがある場合には、当該病棟コードにもとづく集計内容を修正のうえ、ご報告ください。

※本報告で、病棟コードを電子の入院レセプトに記録した病棟コードと異なるコードに変更することも可能です。
なお、病棟ごとに集計した集計データの提供は、電子の入院レセプトに記録した病棟コードで行われます。

上記以外の医療機関・病棟は、病床機能報告制度ホームページに掲載されている「病床機能報告に関する電子レセプト作成の手引き」等の通知及びマスターファイル等ご参照のうえ、病棟ごとに病棟コード（「1906*****」の9桁コード）を選定しご報告ください（ただし、電子レセプトに記録していない場合であって休棟中等の場合、病棟コードの5桁目を「5」とすることは可とします）。

■ レセプト件数

レセプト件数とは、1か月ごとに提出される「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令」（昭和51年厚生省令第36号）に規定する診療報酬明細書1枚を1件とし、「診療報酬の算定方法」（平成20年厚生労働省告示第59号、平成30年一部改定）に定められた診療報酬点数表の当該診療行為を実施したと記載のある明細書の件数をいいます。

例えば、ある明細書に、手術及び術中迅速病理組織標本作製が算定されたと記載があった場合、「手術 総数」のレセプト件数1件、「術中迅速病理組織標本作製」のレセプト件数1件と計上します。1件の明細書で同一項目における複数の当該診療行為が算定されていても、レセプト件数は1件とします。

「急性期入院医療に係る診断群分類に基づく1日あたり包括払い制度（DPC/PDPS（Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System）」において、「総括レセプト」を総括表として「総括対象DPCレセプト」又は「総括対象内科入院レセプト」が添付されている明細書は、「総括レセプト」の単位で1件として計上します。

また、「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法」（平成20年厚生労働省告示第93号、平成30年一部改定）に定められた診断群分類点数表により包括評価となる診療行為は、コーディングデータレコードより、入院料に包括されている診療行為以外の診療行為について計上します。

■ 算定日数

算定日数とは、診療報酬明細書の算定日情報をもとに、当該診療行為を実施したと記載のある日数をいいます。

例えば、ある明細書に脳血管疾患等リハビリテーション料を6月3日に3回、6月11日に3回算定されたと記載があった場合、「脳血管疾患等リハビリテーション料」の算定日数2日と計上します。同日に同一項目における複数の当該診療行為が算定されていても、算定日数は1日とします。

■ 算定回数

算定回数とは、原則として、診療報酬請求書・明細書の記入要領に基づいてレセプトに記載する診療報酬点数表に定められた1行為を1回とし、当該診療行為が実施された延べ算定回数をいいます（例えば、入院基本料は入院1日を1回として計上。「回数」算定に適さない薬剤等を除く）。

ただし、診療報酬点数表において1単位ごとに所定点数が定められている疾患別リハビリテーション料の算定回数については、「算定単位数」としてご報告いただきます。

なお、算定件数は算定回数のことを指します。

1. 算定する入院基本料・特定入院料等の状況

①算定する入院基本料・特定入院料等
〔（1）～（136）欄〕

病院の一般病床・療養病床における入院基本料・特定入院料等の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。

また、入院基本料・特定入院料等別のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

例えば、あるレセプトにおいて、「特定集中治療室管理料1」算定治療室に14日間入院した後、算定要件に該当しない患者としてさらに3日間入院して「急性期一般入院料1」を算定した場合、内訳では「特定集中治療室管理料1」1件・14日、「急性期一般入院料1」1件・3日とカウントし、また、「算定する入院基本料・特定入院料等 総数」の合計欄では1件・17日とカウントして計上します。

経過措置として、令和4年3月31日時点で現に急性期一般入院料6を届け出ている保険医療機関については、令和4年9月30日までの間に限り、引き続き令和4年度改定前の点数表により急性期一般入院料6を算定可能とします。また、令和4年3月31日時点で、回復期リハビリテーション病棟入院料5又は6の届出を行っている病棟については、令和5年3月31日までの間に限り、改正前の点数表に従い算定を行うことができます。

なお、「短期滞在手術等基本料3」については、算定回数は入院していた日数にかかわらず、1回として計上してください。

また、一般病床・療養病床に入院するショートステイ利用者、正常な妊産婦、院内で出生した正常な新生児、生母の入院に伴って入院した健康な新生児又は乳児、治験、人間ドック、母体保護法、その他の自由診療等での入院者等、診療報酬請求を行っていない患者についても、診療報酬点数表に定められた施設基準・算定要件を満たす入院料のレセプト件数、算定回数を計上

してください。

「4. 一般病棟入院基本料（療養病棟入院基本料1の例により算定）」、「6. 特定一般病棟入院料（療養病棟入院基本料1の例により算定）」は、当該病棟のうち、保険医療機関が地方厚生局長等に届け出たものに入院している患者であって、当該病棟に90日を超えて入院する患者について、療養病棟入院基本料1の例により算定するものをいいます。

「介護療養病床における療養型介護療養施設サービス費等」には、療養型介護療養施設サービス費、療養型経過型介護療養施設サービス費、ユニット型療養型介護療養施設サービス費、ユニット型療養型経過型介護療養施設サービス費、認知症疾患型介護療養施設サービス費、認知症疾患型経過型介護療養施設サービス費、ユニット型認知症疾患型介護療養施設サービス費を含めます。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

DPCレセプトにおける入院基本料は、同一病棟の出来高請求レセプトで請求された入院基本料と同一と判定して件数を集計しています。電子レセプトの仕様上、DPCレセプトのコーディングデータレコード（CDレコード）には、診療行為コード、医薬品コード又は特定機材コードが記録される一方、診療行為コードのうち入院基本料は記録されません。DPCレセプトの入院基本料の実績を考慮した、より実態に近い集計データを参考に報告が行えることを目的に、上述の判定を行っています。DPC包括レセプトのみで、判定の材料となる同一病床の出来高レセプトが存在しないことにより、入院基本料がデータ上把握できない場合は0と記載されています。当該箇所は貴院にて集計をお願いいたします。

2. 有床診療所の多様な機能の状況

①算定する入院基本料 〔（137）～（165）欄〕

有床診療所の一般病床・療養病床における入院基本料の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。

また、入院基本料別のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

なお、「2. 有床診療所入院基本料（有床診療所療養病床入院基本料の例により算定）」は、地方厚生局長等に届け出た診療所である保険医療機関において有床診療所療養病床入院基本料の例により算定するものをいいます。「5. 有床診療所療養病床入院基本料（有床診療所入院基本料の例により算定）」は、地方厚生局長等に届け出た診療所である保険医療機関において有床診療所入院基本料の例により算定するものをいいます。

「介護療養病床における診療所型介護療養施設サービス費等」には、診療所型介護療養施設サービス費、ユニット型診療所型介護療養施設サービス費を含めます。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

3. 幅広い手術の実施状況

①手術総数 〔（166）欄〕

一般病床・療養病床における手術の実施状況について、診療報酬点数表「第10部 手術」あるいは歯科診療報酬点数表「第9部 手術」の診療報酬レセプト件数、算定日数、算定回数の総数をご報告ください。

ただし、診療報酬点数表「第10部 手術」の「K920 輸血」、「K920-2 輸血管管理料」、歯科診療報酬点数表「第9部 手術」の「J200 輸血」、「J200-2 輸血管管理料」は除きます。また、一般病床・療養病床以外の病床における手術、入院外における手術についても、含めないでください。

なお、例えば、「K768 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）」のように、数日の間隔を置いて一連の治療過程にある数回の手術を行う場合に1回のみ所定点数を算定する手術については、算定日数、算定回数は1日・

1回として計上してください。また、「K522 食道狭窄拡張術」のように、短期間又は同一入院期間中、回数にかかわらず、第1回目の実施日に1回に限り算定する手術についても、算定日数、算定回数は1日・1回として計上してください。

同一手術野又は同一病巣につき、二つ以上の手術を同時に行った場合、同日に三つの手術が行われた場合等、保険診療報酬上算定が認められない主たる手術以外の手術等については、計上しないでください。

ただし、診療報酬点数表「第10部 手術」の通則14に掲げる場合、告示 複数手術に係る費用の特例「2以上の手術の50%併施加算」については、該当する診療報酬点数表「第10部 手術」の診療報酬として計上してください。同様に、通則9に掲げる「頸部郭清術併施加算（片）」、「頸部郭清術併施加算（両）」は、それぞれ「K469 頸部郭清術1（片側）」、「K469 頸部郭清術2（両側）」として計上してください。制度運営事務局から提供する電子の入院レセプトの集計データには、これらは含まれています。

加えて、「A400 短期滞在手術等基本料3（4泊5日までの場合）」のうち、「A400 短期滞在手術等基本料3ハ（K093-2 関節鏡下手根管開放手術）」～「A400 短期滞在手術等基本料3イ（K873 子宮鏡下子宮筋腫摘出術）」に包括されている手術は、該当する診療報酬点数表「第10部 手術」の診療報酬として計上してください。制度運営事務局から提供する電子の入院レセプトの集計データには、これらは含まれています。

「A400 短期滞在手術等基本料1（日帰りの場合）」において実施した手術は、入院外における手術であることから、計上しないでください。

②全身麻酔の手術総数
〔（167）欄〕

一般病床・療養病床における全身麻酔の手術の実施状況について、上記の「手術 総数」と同様の考え方にもとづき、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数の総数をご報告ください。

なお、全身麻酔の手術とは、診療報酬点数表の「第11部 麻酔」のうち、「L007 開放点滴式全身麻酔」又は「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」と手術を同時に実施しているものをいいます。

また、「短期滞在手術等基本料3」において全身麻酔と同時に実施した手術は、計上しないでください。

③人工心肺を用いた手術
〔（168）欄〕

一般病床・療養病床における人工心肺を用いた手術の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご記入ください。なお、人工心肺を用いた手術とは、診療報酬点数表の「第10部 手術」の区分番号「K541」から「K544」まで、「K551」、「K553」、「K554」から「K556」まで、「K557」から「K557-3」まで、「K558」、「K560」、「K560-2」、「K568」、「K570」、「K571」から「K574」まで、「K576」、「K577」、「K579」から「K580」まで、「K582」から「K589」まで、「K592」から「K593」まで及び「K594」（「4」の「ロ」を除く。）に掲げる人工心肺を用いた手術をいいます。

④胸腔鏡下手術
〔（169）欄〕

一般病床・療養病床における胸腔鏡下手術の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

なお、胸腔鏡下手術とは、診療報酬点数表の「第10部 手術」のうち、術式に「胸腔鏡」の名称が含まれるものをいいます。「K534-3 胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術」は、胸腔鏡下手術でない場合であっても全て計上してください。

⑤腹腔鏡下手術
〔（170）欄〕

一般病床・療養病床における腹腔鏡下手術の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

なお、腹腔鏡下手術とは、診療報酬点数表の「第10部 手術」のうち、術式に「腹腔鏡」の名称が含まれるものをいいます。ただし、「K534-3 胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術」は、腹腔鏡下手術である場合であっても3. の「④胸腔鏡下手術」に計上し、「⑤腹腔鏡下手術」には計上しない

⑥内視鏡手術用支援機器
手術
〔（171）欄〕

てください。また、「K664 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）」も、腹腔鏡下手術である場合であっても、「⑤腹腔鏡下手術」には計上しないでください。

一般病床・療養病床における内視鏡手術用支援機器手術の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数の総数をご報告ください。
内視鏡手術用支援機器手術とは、診療報酬点数表の「第10部 手術」のうち「内視鏡手術支援機器を用いるもの」の記載があるもの、もしくは施設基準を満たし算定が可能になった術式のうち主に内視鏡支援機器を用いて手術を施行したものをいいます。

4. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況

①悪性腫瘍手術
〔（172）欄〕

一般病床・療養病床における悪性腫瘍手術の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

なお、悪性腫瘍手術とは、診療報酬点数表「第10部 手術」あるいは歯科診療報酬点数表「第9部 手術」のうち、術式に「悪性腫瘍」の名称が含まれるものをいいます。「K719 結腸切除術3（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）」は、悪性腫瘍手術でない場合であっても計上してください。

また、「K611 抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置1、2及び3」については、計上しないでください。

②病理組織標本作製
〔（173）～（175）欄〕

一般病床・療養病床における「N000 病理組織標本作製（1臓器につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

③術中迅速病理組織標本作製
〔（176）欄〕

一般病床・療養病床における「N003 術中迅速病理組織標本作製（1手術につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

④放射線治療
〔（177）～（227）欄〕

一般病床・療養病床における放射線治療の実施状況について、診療報酬点数表「第12部 放射線治療」あるいは歯科診療報酬点数表「第11部 放射線治療」の点数表コード（Mコード）ごとに、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

なお、診療報酬点数表の「第12部 放射線治療」のうち、「M005 血液照射」は除きます。

⑤化学療法
〔（228）～（230）欄〕

一般病床・療養病床における薬効分類における「42 腫瘍用薬」の内服薬あるいは注射薬を用いて化学療法を実施しているレセプト件数、算定日数をご報告ください。

内服薬については、1回の処方について算定日数1日として計上してください。また、同日に一人の患者に複数の腫瘍用薬が用いられている場合、内服薬の処方と注射薬が同日である場合であっても、レセプト件数、算定日数は1件・1日として計上してください。

また、薬効分類における「42 腫瘍用薬」の「内服薬」を用いて化学療法を実施しているレセプト件数、算定日数、「注射薬」を用いて化学療法を実施しているレセプト件数、算定日数についてもそれぞれご記入ください。内服薬の処方と注射薬が同日である場合は、「内服薬」と「注射薬」それぞれに計上してください。

なお、薬効分類における「42 腫瘍用薬」を用いていれば、化学療法として使用していない場合であっても計上してください。また、化学療法を実施している場合であっても、薬効分類における「42 腫瘍用薬」を用いていない場合には、計上しないでください。

⑥がん患者指導管理料イ
及びロ
〔(231)～(233)欄〕

制度運営事務局から提供する電子の入院レセプトの集計データでは、医薬品マスターにおける薬価基準コードの5～7桁が「内服薬：001-399」である場合に「内服薬」とし、「注射薬：400-699」である場合に「注射薬」として、レセプト件数、算定日数を集計しています。

その他、薬効分類とは、平成11年12月の中医協で了承された「薬価制度改革の基本方針」に基づき、新薬の薬価算定にかかる類似薬の選定の透明化を図る観点から、効能・効果、薬理作用等に着目し既存品の分類を行ったものになります。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

一般病床・療養病床における「B001 特定疾患治療管理料」のうち、「23 がん患者指導管理料イ及びロ」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。

また、「23 がん患者指導管理料イ（医師が看護師と共同して診療方針等について話し合い、その内容を文書等により提供した場合）」のレセプト件数、「23 がん患者指導管理料ロ（医師又は看護師が心理的不安を軽減するための面接を行なった場合）」のレセプト件数、算定日数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

⑦抗悪性腫瘍剤局所持続
注入
〔(234)欄〕

一般病床・療養病床における「G003 抗悪性腫瘍剤局所持続注入（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

⑧肝動脈塞栓を伴う抗悪
性腫瘍剤肝動脈内注入
〔(235)欄〕

一般病床・療養病床における「G003-3 肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入（1につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

⑨超急性期脳卒中加算
〔(236)欄〕

一般病床・療養病床における「A205-2 超急性期脳卒中加算（入院初日）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。

⑩t-PA投与
〔(237)欄〕

一般病床・療養病床における「t-PA（アクチバシン・グルトパ）投与」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご記入ください。ただし、ICD10対応標準病名マスターの「I63 脳梗塞」に対して投与している場合に限りです。

具体的には下記のコード及び医薬品名を含みます。

医薬品名	医薬品コード
アクチバシン注600万 600万国際単位（溶解液付）	643950056
アクチバシン注1200万 1,200万国際単位（溶解液付）	643950057
アクチバシン注2400万 2,400万国際単位（溶解液付）	643950058
グルトパ注600万 600万国際単位（溶解液付）	643950059
グルトパ注1200万 1,200万国際単位（溶解液付）	643950060
グルトパ注2400万 2,400万国際単位（溶解液付）	643950061

⑪脳血管内手術
〔(238)～(245)欄〕

一般病床・療養病床における「K178 脳血管内手術」、「K178-2 経皮的脳血管形成術」、「K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術」、「K178-4 経皮的脳血栓回収術」及び「K178-5 経皮的脳血管ステント留置術」の実施状況

<p>⑫経皮的冠動脈形成術 〔(246)～(256)欄〕</p>	<p>について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「K178 脳血管内手術1（1箇所）」、「K178 脳血管内手術2（2箇所以上）」、「K178 脳血管内手術3（脳血管内ステントを用いるもの）」、「K178-2 経皮的脳血管形成術」、「K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術1（頭蓋内脳血管の場合）」、「K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術2（頸部脳血管の場合（内頸動脈、椎骨動脈）」、「K178-4 経皮的脳血栓回収術」、「K178-5 経皮的脳血管ステント留置術」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
	<p>一般病床・療養病床における「K546 経皮的冠動脈形成術」、「K548 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）」、「K549 経皮的冠動脈ステント留置術」、「K550 冠動脈内血栓溶解療法」及び「K550-2 経皮的冠動脈血栓吸引術」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p>
	<p>また、「K546 経皮的冠動脈形成術1（急性心筋梗塞に対するもの）」、「K546 経皮的冠動脈形成術2（不安定狭心症に対するもの）」、「K546 経皮的冠動脈形成術3（その他のもの）」、「K548 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）1（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）」、「K548 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）2（エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの）」、「K549 経皮的冠動脈ステント留置術1（急性心筋梗塞に対するもの）」、「K549 経皮的冠動脈ステント留置術2（不安定狭心症に対するもの）」、「K549 経皮的冠動脈ステント留置術3（その他のもの）」、「K550 冠動脈内血栓溶解療法」、「K550-2 経皮的冠動脈血栓吸引術」のレセプト件数、算定回数もそれぞれご報告ください。</p>
	<p>「経皮的冠動脈形成術（その他のもの）」には「K548 経皮的冠動脈形成術（その他）」と「K548 経皮的冠動脈形成術（アテローム切除アブレーション式カテーテル）」を含めてください。</p>
<p>⑬入院精神療法（I） 〔(257)欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「I001 入院精神療法（I）（1回につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑭精神科リエゾンチーム 加算 〔(258)欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A230-4 精神科リエゾンチーム加算（週1回）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑮認知症ケア加算1 〔(259)～(261)欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A247 認知症ケア加算1（1日につき）」の状況について、当該診療報酬レセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A247 認知症ケア加算1」のうち、「イ 14日以内の期間」、「ロ 15日以上期間」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑯認知症ケア加算2 〔(262)～(264)欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A247 認知症ケア加算2（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A247 認知症ケア加算2」のうち、「イ 14日以内の期間」、「ロ 15日以上期間」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑰認知症ケア加算3 〔(265)～(267)欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A247 認知症ケア加算3（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A247 認知症ケア加算3」のうち、「イ 14日以内の期間」、「ロ 15日以上期間」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑱精神疾患診療体制 加算1及び2 〔(268)～(270)欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A248 精神疾患診療体制加算1及び2」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A248 精神疾患診療体制加算1（入院初日）」、「A248 精神疾患</p>

<p>⑱精神疾患診断治療初回加算（救命救急入院料） 〔（271）欄〕</p>	<p>診療体制加算2（入院初日から3日以内に1回）」のレセプト件数についてもそれぞれご報告ください。 一般病床・療養病床における「A300 救命救急入院料」における「精神疾患診断治療初回加算」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。</p>
<p>5. 重症患者への対応状況</p>	
<p>①ハイリスク分娩管理加算 〔（272）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A237 ハイリスク分娩管理加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>②ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ） 〔（273）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B005-5 ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。</p>
<p>③地域連携分娩管理加算 〔（274）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A237 地域連携分娩管理加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>④救急搬送診療料 〔（275）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「C004 救急搬送診療料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑤観血的肺動脈圧測定 〔（276）～（278）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「D230 観血的肺動脈圧測定1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。 また、「D230 観血的肺動脈圧測定1（1時間以内又は1時間につき）」のレセプト件数、算定日数、算定回数、「D230 観血的肺動脈圧測定2（2時間を超えた場合）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑥持続緩徐式血液濾過 〔（279）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J038-2 持続緩徐式血液濾過（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑦大動脈バルーンパンピング法 〔（280）～（282）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「K600 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。 また、「K600 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）1（初日）（1日につき）」、「K600 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）2（2日目以降）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑧経皮的心肺補助法 〔（283）～（285）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「K602 経皮的心肺補助法1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。 また、「K602 経皮的心肺補助法1（初日）（1日につき）」、「K602 経皮的心肺補助法2（2日目以降）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑨補助人工心臓・植込型補助人工心臓 〔（286）～（299）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「K603 補助人工心臓」、「K603-2 小児補助人工心臓」及び「K604-2 植込型補助人工心臓（非拍動流型）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。 また、「K603 補助人工心臓」、「K603-2 小児補助人工心臓」、「K604-2 植込型補助人工心臓（非拍動流型）」それぞれのレセプト件数、算定回数の総数についてもご報告ください。 さらに、「K603 補助人工心臓1（初日）（1日につき）」、「K603 補助人工心臓2（2日目以降30日目まで）（1日につき）」、「K603 補助人工心臓</p>

<p>⑩頭蓋内圧持続測定 （3時間を超えた場合） 〔（300）欄〕</p>	<p>3（31日目以降）（1日につき）」、「K603-2 小児補助人工心臓1（初日）（1日につき）」、「K603-2 小児補助人工心臓2（2日目以降30日目まで）（1日につき）」、「K603-2 小児補助人工心臓3（31日目以降）（1日につき）」、「K604-2 植込型補助人工心臓（非拍動流型）1（初日）（1日につき）」、「K604-2 植込型補助人工心臓（非拍動流型）2（2日目以降30日目まで）（1日につき）」、「K604-2 植込型補助人工心臓（非拍動流型）3（31日目以降90日目まで）（1日につき）」、「K604-2 植込型補助人工心臓（非拍動流型）4（91日目以降）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数もご報告ください。</p>
<p>⑪人工心肺 〔（301）～（303）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「D227 頭蓋内圧持続測定2（3時間を超えた場合）（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p> <p>一般病床・療養病床における「K601 人工心肺1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「K601 人工心肺1（初日）（1日につき）」、「K601 人工心肺2（2日目以降）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑫血漿交換療法 〔（304）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J039 血漿交換療法（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑬吸着式血液浄化法 〔（305）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J041 吸着式血液浄化法（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑭血球成分除去療法 〔（306）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J041-2 血球成分除去療法（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>6. 救急医療の実施状況</p>	
<p>①院内トリアージ実施料 〔（307）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B001-2-5 院内トリアージ実施料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>②夜間休日救急搬送医学管理料 〔（308）～（309）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B001-2-6 夜間休日救急搬送医学管理料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p> <p>また、「B001-2-6 夜間休日救急搬送医学管理料」のうち、「精神科疾患患者等受入加算」の算定要件を満たすレセプト件数、算定回数についてもあわせてご報告ください。</p>
<p>③救急医療管理加算1及び2 〔（310）～（312）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A205 救急医療管理加算1及び2」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A205 救急医療管理加算1（1日につき）」、「A205 救急医療管理加算2（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p> <p>歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p> <p>なお、労災診療費における「救急医療管理加算 入院 6,000円（1日につき）」は、「救急医療管理加算2」に計上してください。</p>
<p>④在宅患者緊急入院診療加算 〔（313）～（316）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A206 在宅患者緊急入院診療加算1、2及び3」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A206 在宅患者緊急入院診療加算1（他の保険医療機関との連携により在宅療養支援診療所若しくは在宅療養支援病院の体制を確保している保険医療機関において、当該他の保険医療機関の求めに応じて行う場合又は在宅療養後方支援病院が他の保険医療機関の求めに応じて行う場合）（入院初日）」、「A</p>

	<p>206 在宅患者緊急入院診療加算2（連携医療機関である場合（1の場合を除く）（入院初日）」、「A206 在宅患者緊急入院診療加算3（1及び2以外の場合）（入院初日）」のレセプト件数についてもそれぞれご報告ください。</p> <p>歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑤救命のための気管内挿管 〔（317）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J044 救命のための気管内挿管」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑥体表面ペーシング法 又は食道ペーシング法 〔（318）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J044-2 体表面ペーシング法又は食道ペーシング法（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑦非開胸的心マッサージ 〔（319）～（321）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J046 非開胸的心マッサージ1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「J046 非開胸的心マッサージ1（30分までの場合）」、「J046 非開胸的心マッサージ2（30分を超えた場合）」のレセプト件数、算定日数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑧カウンターショック 〔（322）～（324）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J047 カウンターショック1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「J047 カウンターショック1（非医療従事者向け自動除細動器を用いた場合）（1日につき）」、「J047 カウンターショック2（その他の場合）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。</p>
<p>⑨心膜穿刺 〔（325）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J048 心膜穿刺」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑩食道圧迫止血チューブ挿入法 〔（326）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J049 食道圧迫止血チューブ挿入法」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑪急性期充実体制加算 〔（327）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A200-2 急性期充実体制加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数の総数をご報告ください。「7日以内の期間」、「8日以上11日以内の期間」、「12日以上14日以内の期間」のいずれの期間も報告対象としてください。</p>
<p>⑫早期栄養介入管理加算 〔（328）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における早期栄養介入管理加算の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。</p> <p>早期栄養介入管理加算とは、医科診療報酬点数表に「早期栄養介入管理加算」の記載があるものを言います。</p>

7. 急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況

<p>①入退院支援加算1 〔（329）～（331）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A246 入退院支援加算1（退院時1回）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A246 入退院支援加算1」のうち、「イ 一般病棟入院基本料等の場合」、「ロ 療養病棟入院基本料等の場合」のレセプト件数についてもそれぞれご報告ください。</p> <p>歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>②入退院支援加算2 〔（332）～（334）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A246 入退院支援加算2（退院時1回）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。</p> <p>また、「A246 入退院支援加算2」のうち、「イ 一般病棟入院基本料等の場合」、「ロ 療養病棟入院基本料等の場合」のレセプト件数についてもそれ</p>

<p>③小児加算 （入退院支援加算1・2 の算定患者が15歳未満 の場合） 〔（335）欄〕</p>	<p>それぞれ報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。 一般病床・療養病床における「A246 入退院支援加算1（退院時1回）」又は「A246 入退院支援加算2（退院時1回）」の状況において、当該算定患者が15歳未満である場合の、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>④入院時支援加算1 〔（336）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A246 入退院支援加算（退院時1回）」の状況において、当該算定患者が自宅等（他医療機関からの転院患者以外）からの予定入院患者であり、外来において（入院前の支援として）①患者情報の把握、②褥瘡の危険因子の評価、③栄養状態の評価、④服薬中の薬剤の確認、⑤入院中の治療・検査の説明、⑥入院生活の説明、⑦退院困難な要因の有無の評価などを行った場合の、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑤入院時支援加算2 〔（337）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A246 入退院支援加算（退院時1回）」の状況において、当該算定患者が自宅等（他医療機関からの転院患者以外）からの予定入院患者であり、外来において（入院前の支援として）①患者情報の把握、②入院生活の説明などを行った場合の、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑥救急・在宅等支援（療養） 病床初期加算及び有床診療 所一般病床初期加算 〔（338）～（342）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「救急・在宅等支援病床初期加算」、「有床診療所一般病床初期加算」及び「救急・在宅等支援療養病床初期加算」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。 また、「A100 一般病棟入院基本料」及び「A317 特定一般病棟入院料」における「救急・在宅等支援病床初期加算（1日につき）」、「A108 有床診療所入院基本料」における「有床診療所一般病床初期加算（1日につき）」、「A109 有床診療所療養病床入院基本料」における「救急・在宅等支援療養病床初期加算（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑦有床診療所急性期患者 支援病床初期加算、有 床診療所在宅患者支援 病床初期加算、有床診 療所急性期患者支援療 養病床初期加算、有床 診療所在宅患者支援療 養病床初期加算 急性期患者支援（療養） 病床初期加算及び在宅 患者支援（療養）病床初 期加算 〔（343）～（345）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「有床診療所急性期患者支援病床初期加算」、「有床診療所在宅患者支援病床初期加算」、「有床診療所急性期患者支援療養病床初期加算」及び「有床診療所在宅患者支援療養病床初期加算」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。 また、「A308-3 地域包括ケア病棟入院料」における「急性期患者支援病床初期加算（1日につき）」、「在宅患者支援病床初期加算（1日につき）」のレセプト件数、算定回数の総数、「A101 療養病棟入院基本料」における「急性期患者支援療養病床初期加算（1日につき）」、「在宅患者支援療養病床初期加算（1日につき）」のレセプト件数、算定回数の総数についてもご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑧地域連携診療計画加 算（入退院支援加算） 〔（346）欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「A246 入退院支援加算1及び2」における「地域連携診療計画加算（退院時1回）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑨退院時共同指導料2</p>	<p>一般病床・療養病床における「B005 退院時共同指導料2」の状況につい</p>

〔(347) 欄〕	<p>て、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑩介護支援等連携指導料 〔(348) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B005-1-2 介護支援等連携指導料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑪退院時リハビリテーション指導料 〔(349) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B006-3 退院時リハビリテーション指導料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。</p>
<p>⑫退院前訪問指導料 〔(350) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B007 退院前訪問指導料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>⑬二次性骨折予防継続管理料 〔(351) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「B001-34 二次性骨折予防継続管理料」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。「二次性骨折予防継続管理料1」、「二次性骨折予防継続管理料2」、「二次性骨折予防継続管理料3」のいずれも報告対象としてください。</p>
<p>8. 全身管理の状況</p>	
<p>①中心静脈注射 〔(352) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「G005 中心静脈注射（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>②呼吸心拍監視 〔(353) ～ (358) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「D220 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ1及び2」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。 また、「D220 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ1（1時間以内又は1時間につき）」のレセプト件数、算定日数、算定回数、「D220 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ2（3時間を超えた場合）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。 さらに、「D220 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ2」のうち、「イ 7日以内の場合」、「ロ 7日を超え14日以内の場合」、「ハ 14日を超えた場合」のレセプト件数、算定回数もご報告ください。 なお、呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）又はカルジオタコスコープを同一日に行った場合は、主たるもののみ計上してください。</p>
<p>③酸素吸入 〔(359) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J024 酸素吸入（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。</p>
<p>④観血的動脈圧測定 （1時間を越えた場合） 〔(360) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「D225 観血的動脈圧測定（カテーテルの挿入に要する費用及びエックス線透視の費用を含む）2（1時間を越えた場合）（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。</p>
<p>⑤ドレーン法、胸腔もしくは腹腔洗浄 〔(361) ～ (367) 欄〕</p>	<p>一般病床・療養病床における「J002 ドレーン法（ドレナージ）1及び2」、「J008 胸腔穿刺（洗浄、注入及び排液を含む）」、「J010 腹腔穿刺（人工気腹、洗浄、注入及び排液を含む）」及び「I009-3 歯科ドレーン法（ドレナージ）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。</p>

⑥人工呼吸
（5時間を超えた場合）
〔（368）欄〕

い。

また、「J002 ドレーン法（ドレナージ）1及び2」のレセプト件数、算定回数、「J008 胸腔穿刺（洗浄、注入及び排液を含む）」、「J010 腹腔穿刺（人工気腹、洗浄、注入及び排液を含む）」のレセプト件数、算定日数、算定回数、「I009-3 歯科ドレーン法（ドレナージ）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

さらに、「J002 ドレーン法（ドレナージ）1（持続的吸引を行うもの）（1日につき）」、「J002 ドレーン法（ドレナージ）2（その他のもの）（1日につき）」のレセプト件数、算定回数もご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

一般病床・療養病床における「J045 人工呼吸3（5時間を越えた場合）（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

⑦人工腎臓、腹膜灌流
〔（369）～（395）欄〕

一般病床・療養病床における「J038 人工腎臓（1日につき）」、「J042 腹膜灌流（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数の総数をご報告ください。

また「J038 人工腎臓1（慢性維持透析を行った場合1）、2（慢性維持透析を行った場合2）、3（慢性維持透析を行った場合3）及び4（その他の場合）」、「J042 腹膜灌流1及び2」それぞれのレセプト件数、算定回数の総数についてもご報告ください。

さらに、「J038 人工腎臓1、2及び3」のそれぞれについては「イ 4時間未満の場合」、「ロ 4時間以上5時間未満の場合」、「ハ 5時間以上の場合」のレセプト件数、算定回数もあわせてご報告ください。

⑧経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法
〔（396）欄〕

一般病床・療養病床における「J043-4 経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

9. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況

①疾患別リハビリテーション料
〔（397）～（421）欄〕

一般病床・療養病床における「H000 心大血管疾患リハビリテーション料」、「H001 脳血管疾患等リハビリテーション料」、「H001-2 廃用症候群リハビリテーション料」、「H002 運動器リハビリテーション料」、「H003 呼吸器リハビリテーション料」、「H007 障害児（者）リハビリテーション料」、「H007-2 がん患者リハビリテーション料」、「H007-3 認知症患者リハビリテーション料」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数の総数をご報告ください。

また、「H000 心大血管疾患リハビリテーション料（1単位）」、「H001 脳血管疾患等リハビリテーション料（1単位）」、「H001-2 廃用症候群リハビリテーション料（1単位）」、「H002 運動器リハビリテーション料（1単位）」、「H003 呼吸器リハビリテーション料（1単位）」、「H007 障害児（者）リハビリテーション料（1単位）」、「H007-2 がん患者リハビリテーション料（1単位）」のレセプト件数、算定日数、算定回数についてもそれぞれご記入ください。なお、当該リハビリテーション料の「算定回数」は、診療報酬点数表に定められた1単位ごとにカウントのうえ、「算定単位数」としてご報告ください。

さらに、「H007-3 認知症患者リハビリテーション料（1日につき）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

②早期リハビリテーション加算

一般病床・療養病床における「H000 心大血管疾患リハビリテーション料」、「H001 脳血管疾患等リハビリテーション料」、「H001-2 廃用症候

(リハビリテーション料) [(422) 欄] 群リハビリテーション料」、「H002 運動器リハビリテーション料」、「H003 呼吸器リハビリテーション料」における「早期リハビリテーション加算（1単位につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

③早期離床・リハビリテーション加算 (特定集中治療室管理料) [(423) 欄] 一般病床・療養病床における「A301 特定集中治療室管理料」における「早期離床・リハビリテーション加算」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

④初期加算 (リハビリテーション料) [(424) 欄] 一般病床・療養病床における「H000 心大血管疾患リハビリテーション料」「H001 脳血管疾患等リハビリテーション料」「H001-2 廃用症候群リハビリテーション料」、「H002 運動器リハビリテーション料」「H003 呼吸器リハビリテーション料」における「初期加算（1単位につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

⑤摂食機能療法 [(425) ~ (427) 欄] 一般病床・療養病床における「H004 摂食機能療法（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

また、「H004 摂食機能療法1（30分以上の場合）」、「H004 摂食機能療法2（30分未満の場合）」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

⑥休日リハビリテーション提供体制加算 (回復期リハビリテーション病棟入院料) [(428) 欄] 一般病床・療養病床における「A308 回復期リハビリテーション病棟入院料3、4、5及び6」における「休日リハビリテーション提供体制加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

経過措置として、令和4年3月31日時点で、回復期リハビリテーション病棟入院料5又は6の届出を行っている病棟については、令和5年3月31日までの間に限り、改正前の点数表に従い算定を行うことができます。

⑦入院時訪問指導加算 (リハビリテーション総合計画評価料) [(429) 欄] 一般病床・療養病床における「H003-2 リハビリテーション総合計画評価料」における「入院時訪問指導加算（入院中1回）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。

10. 長期療養患者の受入状況

①褥瘡対策加算 (療養病棟入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料) [(430) ~ (432) 欄] 一般病床・療養病床における「A101 療養病棟入院基本料」及び「A109 有床診療所療養病床入院基本料」における「褥瘡対策加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

また、「褥瘡対策加算1」、「褥瘡対策加算2」のレセプト件数、算定回数についてもそれぞれご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。

②重度褥瘡処置 [(433) 欄] 一般病床・療養病床における「J001-4 重度褥瘡処置（1日につき）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

③重症皮膚潰瘍管理加算 [(434) 欄] 一般病床・療養病床における「A226 重症皮膚潰瘍管理加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

11. 重度の障害児等の受入状況

- | | |
|---|---|
| ①難病等特別入院診療加算
[(435) 欄] | 一般病床・療養病床における「A210 難病等特別入院診療加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。 |
| ②特殊疾患入院施設管理加算
[(436) 欄] | 一般病床・療養病床における「A211 特殊疾患入院施設管理加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 |
| ③超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
[(437) 欄] | 一般病床・療養病床における「A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。

歯科診療報酬で本項目に該当するものはあわせて計上してください。 |
| ④強度行動障害入院医療管理加算
[(438) 欄] | 一般病床・療養病床における「A231-2 強度行動障害入院医療管理加算（1日につき）」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 |

12. 医科歯科の連携状況

- | | |
|--|--|
| ①歯科医師連携加算
（栄養サポートチーム加算）
[(439) 欄] | 一般病床・療養病床における「A233-2 栄養サポートチーム加算」における「歯科医師連携加算」の状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 |
| ②周術期口腔機能管理後手術加算
[(440) 欄] | 一般病床・療養病床における診療報酬点数表「第10部 手術」の通則17あるいは歯科診療報酬点数表「第9部 手術」の通則16に掲げる「周術期口腔機能管理後手術加算」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をご報告ください。 |
| ③周術期等口腔機能管理料（Ⅱ）
[(441) 欄] | 一般病床・療養病床における歯科診療報酬点数表「B000-7 周術期等口腔機能管理料（Ⅱ）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数、算定回数をご報告ください。 |
| ④周術期等口腔機能管理料（Ⅲ）
[(442) 欄] | 一般病床・療養病床における歯科診療報酬点数表「B000-8 周術期等口腔機能管理料（Ⅲ）」の実施状況について、当該診療報酬のレセプト件数をご報告ください。 |

13. 当該病棟における医療機能の報告の再確認

- | | |
|-------------------------------|--|
| ①報告項目3～6及び8の合計
[(443) 欄] | G-MIS上のWEBフォームをご利用の場合、「3. 幅広い手術の実施状況」、「4. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況」、「5. 重症患者への対応状況」、「6. 救急医療の実施状況」及び「8. 全身管理の状況」におけるレセプト件数について合計値が自動計算され、記載されています。

紙媒体をご利用の場合は、下記（444）～（448）欄のそれぞれについてレセプト件数を算出後、それらの合計値をご報告ください。 |
| 「3. 幅広い手術の実施状況」
[(444) 欄] | G-MIS上のWEBフォームをご利用の場合、「3. 幅広い手術の実施状況」における「①手術総数（166）」のレセプト件数の値が自動的に転載されています。

紙媒体をご利用の場合は、「3. 幅広い手術の実施状況」における「①手術総数（166）」のレセプト件数の値を転記ください。 |
| 「4. がん・脳卒中・心筋 | G-MIS上のWEBフォームをご利用の場合は、「4. がん・脳卒中・心筋梗塞 |

報告様式2（病院・有床診療所共通）II. 確認・記入の手引き ②病棟票

梗塞等への治療状況 [(445) 欄]	等への治療状況」における「①悪性腫瘍手術（172）」、「②病理組織標本作成（173）」～「⑲精神疾患診断治療初回加算（救命救急入院料）（271）」の各レセプト件数が自動的に合計され、転載されています。 紙媒体をご利用の場合は、「4. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況」における「①悪性腫瘍手術（172）」、「②病理組織標本作成（173）」～「⑲精神疾患診断治療初回加算（救命救急入院料）（271）」のレセプト件数について、合計値を算出の上、当該合計値を該当欄にご報告ください。
「5. 重症患者への対応状況」 [(446) 欄]	G-MIS上のWEBフォームをご利用の場合は、「5. 重症患者への対応状況」における「①ハイリスク分娩管理加算（272）」、「②ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）（273）」～「⑭血球成分除去療法（306）」の各レセプト件数が自動的に合計され、転載されています。 紙媒体をご利用の場合は、「5. 重症患者への対応状況」における「①ハイリスク分娩管理加算（272）」、「②ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）（273）」～「⑭血球成分除去療法（306）」のレセプト件数について合計値を算出の上、当該合計値を該当欄にご報告ください。
「6. 救急医療の実施状況」 [(447) 欄]	G-MIS上のWEBフォームをご利用の場合は、「6. 救急医療の実施状況」における「①院内トリアージ実施料（307）」、「②夜間休日救急搬送医学管理料（308）」～「⑩食道圧迫止血チューブ挿入法（326）」の各レセプト件数が自動的に合計され、転載されています。 紙媒体をご利用の場合は、「6. 救急医療の実施状況」における「①院内トリアージ実施料（307）」、「②夜間休日救急搬送医学管理料（308）」～「⑩食道圧迫止血チューブ挿入法（326）」のレセプト件数について合計値を算出の上、当該合計値を該当欄にご報告ください。
「8. 全身管理の状況」 [(448) 欄]	G-MIS上のWEBフォームをご利用の場合は、「8. 全身管理の状況」における「①中心静脈注射（352）」、「②呼吸心拍監視（353）」～「⑧経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法（396）」の各レセプト件数が自動的に合計され、転載されています。 紙媒体をご利用の場合は、「8. 全身管理の状況」における「①中心静脈注射（352）」、「②呼吸心拍監視（353）」～「⑧経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法（396）」のレセプト件数について合計値を算出の上、当該合計値を該当欄にご報告ください。
②2023（令和5）年7月1日時点の機能 [(449) ～450) 欄]	当該病棟の2023（令和5）年7月1日時点の医療機能をご回答ください。原則、上記「①報告項目3～6及び8の合計」においてレセプト件数がゼロであり、報告様式1において同病棟の「分娩件数をゼロと回答している」場合は、「1. 高度急性期機能」、「2. 急性期機能」 <u>以外</u> の医療機能を選択ください。なお、前述の条件にあてはまっても「1. 高度急性期機能」あるいは「2. 急性期機能」を選択される場合は、高度急性期機能あるいは急性期機能として、どのような医療行為を行ったのかを自由記述欄にご回答ください。
③2025（令和7）年7月1日時点の機能 [(451) 欄]	当該病棟における2025（令和7）年7月1日時点において想定されている医療機能をご回答ください。
④2025（令和7）年7月1日時点の移行予定先 [(452) 欄]	上記③において、「7. 介護保険施設等へ移行予定」を選択された場合、2025（令和7）年7月1日時点において想定されている移行先をご回答ください。
⑤2025（令和7）年7月1日以前に医療機能の変更予定が有る場合	上記③の「2025（令和7）年7月1日時点の機能の実現」に向け、それ以前（2025（令和7）年7月1日より前）に当該病棟の医療機能に変更予定がある場合、「2025（令和7）年7月1日迄に変更予定あり」欄にチェックを入

報告様式2（病院・有床診療所共通）II. 確認・記入の手引き ②病棟票

〔（453）欄〕

れ、その医療機能を上記②の選択肢より番号を選び、「変更後の機能」欄にご報告ください。また、変更予定の年月についてもご回答ください。

【その他、ご報告にあつての特記事項】

ご報告に当たって、その他特記事項がございましたら自由回答欄にご記載ください。

〔任意（454）欄〕

(3) 「手術（個別）票」及び「全身麻酔手術（個別）票」の確認・記入要領

■ 本項目では、貴院における個別の手術及び全身麻酔の手術の実施状況等について、施設管理者及び事務部門の担当者がご報告ください。

3. 幅広い手術の個別の実施状況

◎個別の手術の実施状況

[「②病棟票」3. 「①手術 総数」(166) 欄の内訳]

一般病床・療養病床における個別の手術の実施状況について、前述の「手術 総数」と同様の考え方にもとづき、診療報酬点数表「第10部 手術」のKコードごと、あるいは歯科診療報酬点数表「第9部 手術」のJコードごとに、コード、区分番号、枝番、項番、項番内訳（イ・ロ・ハ等）、診療行為名称、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をそれぞれご報告ください。

なお、診療報酬点数表の「第10部 手術」のうち、「K920 輸血」、「K920-2 輸血管管理料」は除きます。

コード、区分番号、枝番、項番、項番内訳（イ・ロ・ハ等）の記入に当たって、例えば、「K000 創傷処理」の「1 筋肉、臓器に達するもの（長径5cm未満）」のように枝番、項番内訳がない診療行為については、コード「K」、区分番号「000」、項番「1」、名称「創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5cm未満）」とし、枝番、項番内訳は記入しないでください。「K000-2 小児創傷処理（6歳未満）」の「1 筋肉、臓器に達するもの（長径2.5cm未満）」のように項番内訳がない診療行為については、コード「K」、区分番号「000」、枝番「2」、項番「1」、名称「小児創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径2.5cm未満）」と記入し、項番内訳は記入しないでください。「K142-2 脊椎側彎症手術」の「2 矯正術」の「イ 初回挿入」については、コード「K」、区分番号「142」、枝番「2」、項番「2」、項番内訳「イ」、名称「脊椎側彎症手術 矯正術 初回挿入」と記入してください。枝番、項番を誤って逆に記入しないようご注意ください。

制度運営事務局から提供する電子の入院レセプトの集計データでは、医科診療行為マスター・歯科診療行為マスターに準じて、診療報酬点数表のKコードあるいは歯科診療報酬点数表のJコードの区分番号・枝番・項番・項番内訳（イ・ロ・ハ等）・診療行為名称ごとに、レセプト件数、算定日数、算定回数を集計しています。

◎個別の全身麻酔の手術の実施状況

[「②病棟票」3. 「②全身麻酔の手術 総数」(167) 欄の内訳]

一般病床・療養病床における個別の全身麻酔の手術の実施状況について、上記の「個別の手術」と同様の考え方にもとづき、診療報酬点数表「第10部 手術」のKコードごと、あるいは歯科診療報酬点数表「第9部 手術」のJコードごとに、コード、区分番号、枝番、項番、項番内訳（イ・ロ・ハ等）、診療行為名称、当該診療報酬のレセプト件数、算定日数、算定回数をそれぞれご報告ください。

なお、全身麻酔の手術とは、診療報酬点数表の「第11部 麻酔」のうち、「L007 開放点滴式全身麻酔」又は「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」と手術を同時に実施しているものをいいます。

制度運営事務局から提供する電子の入院レセプトの集計データでは、「L007 開放点滴式全身麻酔」又は「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」と同日に手術の実施があった場合のレセプト件数、算定日数、算定回数を集計しています。

【「コード」、「区分番号」、「枝番」、「項番」、「項番内訳（イ・ロ・ハ等）」の記入例】

K000 創傷処理
 1 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)
 ※枝番、項番内訳は記入しない

コード	区分番号	枝番	項番	イロハ等	名称
K	000	-	1		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)

K000-2 小児創傷処理(6歳未満)
 1 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5cm未満)
 ※項番内訳は記入しない、枝番、項番を逆に記入しないように注意

コード	区分番号	枝番	項番	イロハ等	名称
K	000	-2	1		小児創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5cm未満)

K142-2 脊椎側彎症手術
 2 矯正術
 イ 初回挿入」の診療行為
 ※枝番、項番を逆に記入しないように注意

コード	区分番号	枝番	項番	イロハ等	名称
K	142	-2	2	イ	脊椎側彎症手術 矯正術 初回挿入

III. 報告エラーについて

「報告様式2」では、報告様式の各項目について、主に以下のエラーチェックを行っています。

データに不備がある場合はエラーメッセージが表示されますので、内容をご確認のうえ、修正を行ってください。明らかなエラーを含む場合、そのまま提出できないことがあります。また、必須項目には「*」というアイコンが表示されます。

《①基本票、②病棟票、手術（個別）票及び全身麻酔手術（個別）票共通の報告エラー》

（報告エラーの種類）

- ・ 未報告によるエラー
- ・ 各項目内において、算定日数及び算定回数と比較して、レセプト件数が大きいエラー
- ・ 各項目内において、算定回数と比較して、算定日数が大きいエラー

《②病棟票における報告エラー》

（報告エラーの種類）

- ・ 病院において、同一の病棟コードが複数の病棟票で重複して記入されているエラー

《手術（個別）票及び全身麻酔手術（個別）票における報告エラー》

（報告エラーの種類）

- ・ 個別の手術及び全身麻酔の手術の各項目において、存在しないKコード等の区分番号・枝番・項番が記載されているエラー（令和4年度の診療報酬改定で廃止されたコード含む）

IV. よくあるご質問

No	ご質問	回答
1	報告様式に選択肢がない算定はどのように扱えばよいか。	令和4年度の診療報酬改定により変更になった貴院の届出をご確認の上、報告様式内の選択肢をご選択ください。
2	報告様式に選択肢がないもの（経過措置等）はどのように回答すればよいか。	令和4年度の診療報酬改定により変更になった貴院の届出をご確認の上、報告様式内の選択肢をご選択ください。
3	過去の自院の病床・外来機能報告の報告結果を確認したい。	厚生労働省の病床・外来機能報告ホームページから過去の報告データの一部が確認できます。
4	病棟コードが「000000000」の病棟があるが、これは何か。	病棟コードが未入力分のレセプトデータについては、000000000としてまとめて表示されます。 内容をご確認いただき、医療機関で把握しているデータを病棟ごとに分割して集計の上でご報告ください。 分割して集計を行うことが困難な場合は、病棟コードが未入力のレセプトデータ分を特定の病棟にまとめた上でご報告ください。
5	入院基本料が0件となっている月や極端に少ない月が存在しているが、これはなぜか。	DPC レセプトにおける入院基本料は、同一病棟の出来高請求レセプトで請求された入院基本料と同一と判定して件数を集計しています。電子レセプトの仕様上、DPC レセプトのコーディングデータレコード（CDレコード）には、診療行為コード（SIレコード）、医薬品コード（IYレコード）又は特定機材コード（TOレコード）が記録される一方、診療行為コードのうち入院基本料は記録されません。DPC レセプトの入院基本料の実績を考慮した、より実態に近い集計データを参考に報告が行えることを目的に、上述の判定を行っています。（詳細は「Ⅱ. 確認・記入の手引き」の「1. 算定する入院基本料・特定入院料等の状況」参照） DPC 包括レセプトについて、同じ病棟で、包括期間外の算定に使われた出来高レセプトで算定されている入院基本料を、「包括レセプトでも同様に算定しているはずである」と想定の上で条件付けを行い、

報告様式 2 (病院・有床診療所共通) IV. よくあるご質問

		<p>報告される際の「手掛かり」として、包括レセプトの期間の入院日数を補完する処理をしています。</p> <p>また、包括レセプトは算定されているものの、「手掛かり」にできる入院基本料を有する出来高レセプトがないため、包括期間の入院基本料を補完する処理ができないケースに該当している可能性があり、その場合は、貴院において集計をお願いいたします。これらに該当しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡ください。</p>
6	<p>手術票に A コードの実績が記載されているが、これはなぜか。</p>	<p>「A400 短期滞在手術等基本料 3 (4泊5日までの場合)」のうち、「A400 短期滞在手術等基本料 3 ハ (K093-2 関節鏡下手根管開放手術)」～「A400 短期滞在手術等基本料 3 イ (K873 子宮鏡下子宮筋腫摘出術)」に包括されている手術は、該当する診療報酬点数表「第 10 部 手術」の診療報酬として計上しますので、集計データには、これらを含んでおります。</p> <p>なお、A400 短期滞在手術等基本料 1 (日帰りの場合)」において実施した手術は、入院外における手術であることから、計上に含めません。</p> <p>また、手術名称は、該当する医科点数表番号 (例: A400-00-03) に属する手術の名称が表示されていますが、報告にあたっては、あくまで貴院で該当する手術について実績をご確認ください。</p>